

### 第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況



# 第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

対象事業実施区域及びその周囲の概況については、主に既存資料による調査結果を記載した。

## 3-1 自然的状況

### 3-1-1 大気質の状況

対象事業実施区域及びその周辺の大気質については、その状況を広域的に把握するために、半径約4kmの範囲に存在する一般環境大気測定局（以下、「一般局」という）及び自動車排出ガス測定局（以下、「自排局」という）の測定結果を用いて把握した。また、ダイオキシン類については大気環境常時測定局以外の既存測定地点についても把握を行った。

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局等の位置は図3-1.1に、各測定局等における測定項目は表3-1.1に示すとおりである。以下、各項目についての大気汚染の状況を述べる。

表 3-1.1 各測定局の測定項目

種別	測定局名	所在地	測定場所	測定項目										対象事業実施区域からの距離	
				二酸化硫黄	窒素酸化物	一酸化炭素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	風向・風速	温度・湿度	ダイオキシン類	降下ばいじん量		
一般局	1	船橋印内	船橋市印内1-2-1	葛飾小学校	○	○	-	○	○	(○)	○	○	-	-	約4km
	2	船橋若松	船橋市若松3-2-3	若松中学校	[○]	○	-	○	○	-	○	○	-	-	約2.5km
	3	船橋南本町	船橋市南本町10-1	南本町子育て支援センター	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	約3km
	4	市川二俣	市川市二俣678	二俣小学校	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	約2.5km
	5	市川行徳駅前	市川市湊新田2-4	行徳駅前公園	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-	約4.5km
	6	習志野谷津	習志野市谷津3-25-11	向山遊歩道公園前	-	○	-	-	○	-	○	-	○	-	約3.5km
自排局	①	船橋海神	船橋市海神町3-399-1	NEXCO東日本所有地	-	○	○	-	○	-	○	-	-	-	約3km
	②	船橋日の出	船橋市日の出1-16	東関東自動車道高架下	-	○	○	-	○	○	○	○	-	-	約2km
	③	市川行徳	市川市末広1-1-48	第七中学校	-	○	○	-	○	(○)	-	-	-	-	約4.5km
	④	習志野秋津	習志野市秋津4-20	秋津総合運動公園	-	○	-	-	○	(○)	○	○	○	-	約4km
その他	ア	行徳小学校	市川市富浜1-1-40	行徳小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	約4km
	イ	市川南高校	市川市高谷1509	市川南高校	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	約2.5km
	ウ	中央消防署	船橋市湊町2-6-10	中央消防署	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	約2.8km

注) 測定項目(○)は、年度途中で測定が追加された項目を、[○]は年度途中で削減された項目を示す。

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」(平成25年8月、千葉県)

「市川市環境白書(平成25年版)」(市川市ホームページ)

「平成25年版船橋市の環境測定データ集(平成24年度測定結果)」(船橋市ホームページ)



凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- 大気環境常時測定局（一般局）
- 市境
- ◆ 大気環境常時測定局（自排局）
- - - 都県境
- ▲ ダイオキシン類既存測定地点
- △ 降下ばいじん量測定地点

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）  
 「市川市環境白書（平成25年版）」（市川市ホームページ）  
 「平成25年版船橋市の環境測定データ集（平成24年度測定結果）」（船橋市ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の1:50,000地形図「東京東北部」「東京東南部」「佐倉」「千葉」を使用したものである。

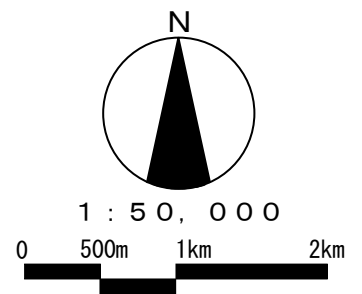


図 3-1.1 大気環境常時測定局位置図

## 1. 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

対象事業実施区域及びその周辺の一般局における、二酸化硫黄の平成24年度の測定結果は表3-1.2(1)に示すとおりである。また、年平均値の経年変化は表3-1.2(2)及び図3-1.2に示すとおりである。

二酸化硫黄は、船橋印内測定局、船橋若松測定局及び市川行徳駅前測定局の3局で測定されているが、船橋若松局については測定時間が6,000時間未満となっている。船橋印内測定局及び市川行徳駅前測定局については日平均値の2%除外値が0.04ppm以下であり、日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したこともなく、環境基準の長期的評価を達成している。また、1時間値が0.10ppmを超えたことはなく、環境基準の短期的評価も達成している。年平均値の経年変化は、いずれの測定局においても概ね横ばい傾向である。

表3-1.2(1) 二酸化硫黄年間測定結果（一般局、平成24年度）

測定局	年平均値	1時間値が0.10ppmを超えた時間数	日平均値が0.04ppmを超えた日数	日平均値の2%除外値	日平均値が0.040ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準との比較 <sup>注1)</sup>
	(ppm)	(時間)	(日)	(ppm)	(有×・無○)	
1 船橋印内	0.001	0	0	0.003	○	○
2 船橋若松	(0.002)	(0)	(0)	(0.007)	(○)	(○)
5 市川行徳駅前	0.002	0	0	0.005	○	○

注1) 環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準（日平均値の2%除外値が0.04ppm以下で、かつ、日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続していないこと）を達成。

注2) ( ) は年間の測定時間が6,000時間未満。

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

表3-1.2(2) 二酸化硫黄年平均値の推移（一般局）

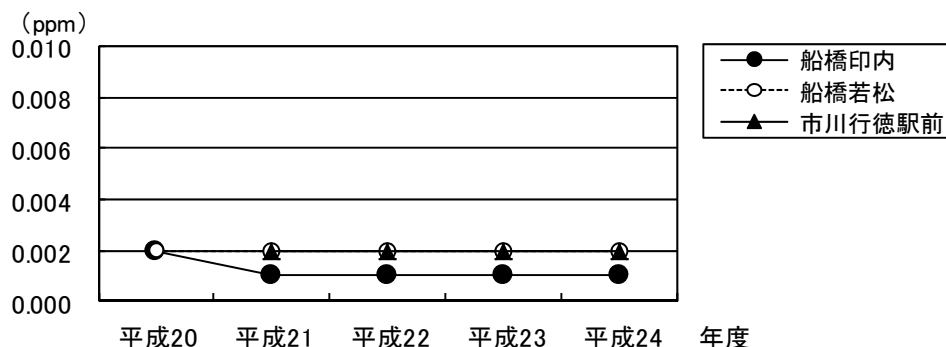
単位：ppm

測定局\年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1 船橋印内	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001
2 船橋若松	0.002	0.002	0.002	0.002	(0.002)
5 市川行徳駅前	—	0.002	0.002	0.002	0.002

注) ( ) は年間の測定時間が6,000時間未満。

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

SO<sub>2</sub>年平均値



出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

図3-1.2 二酸化硫黄年平均値の推移（一般局）

## 2. 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

対象事業実施区域及びその周辺の一般局における、二酸化窒素の平成24年度の測定結果は、表3-1.3(1)に示すとおりである。また、二酸化窒素の年平均値の経年変化は、表3-1.3(2)及び図3-1.3に示すとおりである。

二酸化窒素は、すべての測定局で日平均値の年間98%値が0.06ppm以下であり、環境基準を達成している。千葉県においては二酸化窒素の環境目標値（日平均値の年間98%値が0.04ppm以下）が定められており、船橋印内測定局及び習志野谷津測定局については環境目標値を達成している。

年平均値の経年変化は、各測定局とも概ね横ばい傾向である。

表3-1.3(1) 二酸化窒素年間測定結果（一般局、平成24年度）

測定局	年平均値	日平均値の年間98%値	環境基準との比較	県環境目標値との比較
	(ppm)	(ppm)		
1 船橋印内	0.015	0.037	○	○
2 船橋若松	0.021	0.047	○	×
3 船橋南本町	0.018	0.044	○	×
4 市川二俣	0.022	0.050	○	×
5 市川行徳駅前	0.017	0.043	○	×
6 習志野谷津	0.018	0.038	○	○

注1) 環境基準との比較：○は環境基準（日平均値の年間98%値が0.06ppm以下であることを達成）

注2) 県環境目標値との比較：○は県環境目標値（日平均値の年間98%値が0.04ppm以下であることを達成）、×は未達成。

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

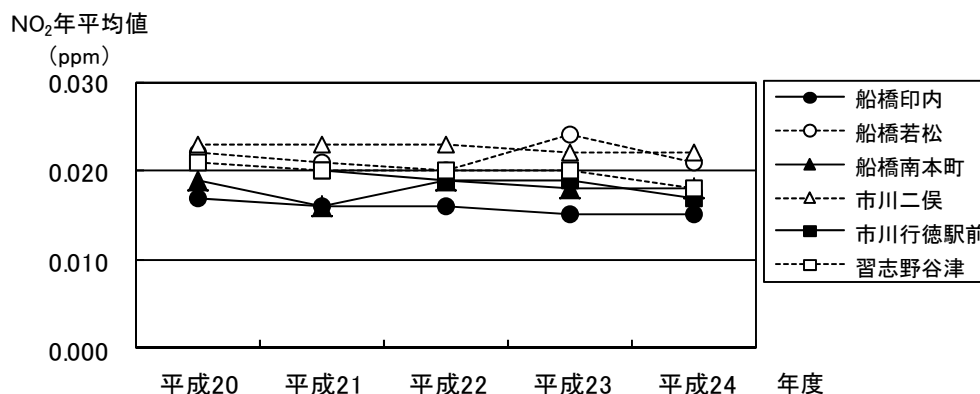
表3-1.3(2) 二酸化窒素年平均値の推移（一般局）

単位：ppm

測定局\年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1 船橋印内	0.017	0.016	0.016	0.015	0.015
2 船橋若松	0.022	0.021	0.020	(0.024)	0.021
3 船橋南本町	0.019	0.016	0.019	0.018	0.018
4 市川二俣	0.023	0.023	0.023	0.022	0.022
5 市川行徳駅前	—	0.020	0.019	0.019	0.017
6 習志野谷津	0.021	0.020	0.020	0.020	0.018

注) ( ) は年間の測定時間が6,000時間未満。

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）



出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

図3-1.3 二酸化窒素年平均値の推移（一般局）

対象事業実施区域及びその周辺の自排局における、二酸化窒素の平成24年度の測定結果は、表3-1.4(1)に示すとおりである。また、二酸化窒素の年平均値の経年変化は、表3-1.4(2)及び図3-1.4に示すとおりである。

二酸化窒素は、すべての測定局で日平均値の年間98%値が0.06ppm以下であり、環境基準を達成している。千葉県においては二酸化窒素の環境目標値（日平均値の年間98%値が0.04ppm以下）が定められているが、すべての測定局で環境目標値は達成されていない。

年平均値の経年変化は、各測定局とも概ね横ばい傾向である。

表3-1.4(1) 二酸化窒素年間測定結果（自排局、平成24年度）

測定局	年平均値	日平均値の年間98%値	環境基準との比較	県環境目標値との比較
	(ppm)	(ppm)		
① 船橋海神	0.024	0.049	○	×
② 船橋日の出	0.029	0.060	○	×
③ 市川行徳	0.022	0.046	○	×
④ 習志野秋津	0.021	0.048	○	×

注1) 環境基準との比較：○は環境基準（日平均値の年間98%値が0.06ppm以下であることを達成）

注2) 県環境目標値との比較：×は県環境目標値（日平均値の年間98%値が0.04ppm以下であることを未達成）

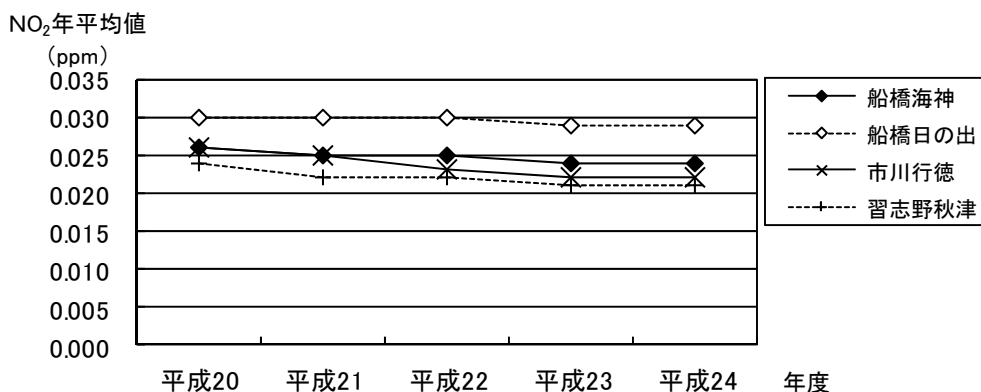
出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

表3-1.4(2) 二酸化窒素年平均値の推移（自排局）

単位：ppm

測定局\年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
① 船橋海神	0.026	0.025	0.025	0.024	0.024
② 船橋日の出	0.030	0.030	0.030	0.029	0.029
③ 市川行徳	0.026	0.025	0.023	0.022	0.022
④ 習志野秋津	0.024	0.022	0.022	0.021	0.021

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）



出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

図 3-1.4 二酸化窒素年平均値の推移（自排局）

### 3. 一酸化炭素 (CO)

対象事業実施区域及びその周辺の自排局における、一酸化炭素の平成24年度の測定結果は表3-1.5(1)に示すとおりである。また、年平均値の経年変化は表3-1.5(2)及び図3-1.5に示すとおりである。

一酸化炭素は、船橋海神測定局、船橋日の出測定局及び市川行徳測定局の3局で測定されており、すべての測定局で日平均値の2%除外値が10.0ppm以下であり、日平均値が10.0ppmを超えた日が2日以上連続したこともなく、環境基準の長期的評価を達成している。また、1時間値が20.0ppmを超えたことはなく、環境基準の短期的評価も達成している。

年平均値の経年変化は、いずれの測定局においても概ね横ばい傾向である。

表3-1.5(1) 一酸化炭素年間測定結果 (自排局、平成24年度)

測定局	年平均値	日平均値が10ppmを超えた日数	1時間値の8時間平均値が20ppmを超えた回数	日平均値の2%除外値	日平均値が10.0ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準との比較 (注)
	(ppm)	(日)	(回)	(ppm)	(有×・無○)	
① 船橋海神	0.4	0	0	0.8	○	○
② 船橋日の出	0.4	0	0	0.8	○	○
③ 市川行徳	0.4	0	0	0.9	○	○

注) 環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準（日平均値の2%除外値が10.0ppm以下で、かつ、日平均値が10.0ppmを超えた日が2日以上連続していないこと）を達成。

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

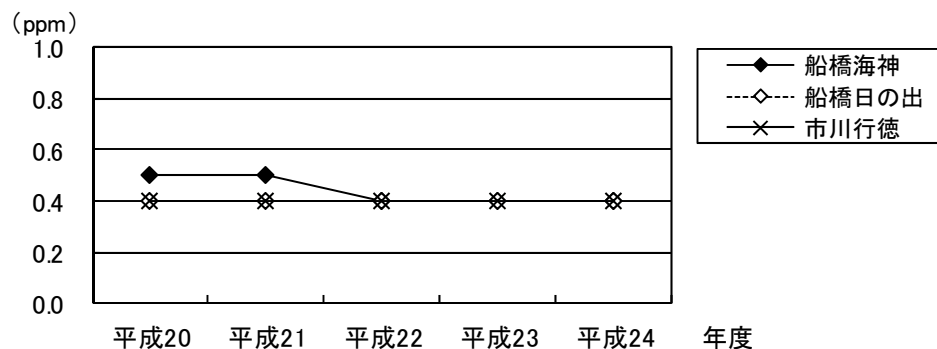
表3-1.5(2) 一酸化炭素年平均値の推移 (自排局)

単位：ppm

測定局\年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
① 船橋海神	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4
② 船橋日の出	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
③ 市川行徳	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

CO年平均値



出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

図3-1.5 一酸化炭素年平均値の推移 (自排局)



#### 4. 光化学オキシダント (Ox)

対象事業実施区域及びその周辺の一般局における、光化学オキシダントの平成24年度の測定結果は、表3-1.6(1)に示すとおりである。また、昼間の1時間値が0.12ppm（光化学スモッグ注意報の発令基準レベル。ただし、注意報はこの状態が継続すると判断されるとき発令される）以上の日数の経年変化は、表3-1.6(2)に示すとおりである。

昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数が43日～57日であり、いずれの測定局とも環境基準は達成されていない。

なお、光化学オキシダントの濃度は、気象条件等によって影響を受けるため、注意報発令日数は年度により増減が見られる。

表3-1.6(1) 光化学オキシダント年間測定結果（一般局、平成24年度）

測定局名	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		環境基準との比較	時間達成率 (%)
	日	時間		
1 船橋印内	57	234	×	95.9
2 船橋若松	54	198	×	96.3
3 船橋南本町	43	169	×	96.9
5 市川行徳駅前	57	220	×	95.9

注1) 環境基準との比較：○は環境基準（1時間値が0.06ppm以下であること）を達成。×は未達成。

注2) 時間達成率：(昼間の環境基準達成時間/昼間の測定時間)×100 (%)

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

表3-1.6(2) 光化学オキシダントの昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数の推移

単位：日

測定局\年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1 船橋印内	3	0	6	0	4
2 船橋若松	1	0	9	2	3
3 船橋南本町	1	0	7	0	3
5 市川行徳駅前	—	0	7	1	3

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

## 5. 浮遊粒子状物質 (SPM)

対象事業実施区域及びその周辺の一般局における、浮遊粒子状物質の平成24年度の測定結果は、表3-1.7(1)に示すとおりである。また、浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化は、表3-1.7(2)及び図3-1.6に示すとおりである。

浮遊粒子状物質は、すべての測定局で日平均値の2%除外値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続したこともなく、環境基準の長期的評価を達成している。また、1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>を超えたことはなく、環境基準の短期的評価も達成している。

年平均値の経年変化は、横ばい若しくは減少傾向にある。

表3-1.7(1) 浮遊粒子状物質年間測定結果（一般局、平成24年度）

測定局	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間数	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数	日平均値の 2%除外値	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日が2日以上連続 したことの有無	環境基準 との比較
		(時間)	(日)	(mg/m <sup>3</sup> )	(有×・無○)	
1 船橋印内	0.019	0	0	0.048	○	○
2 船橋若松	0.020	0	0	0.047	○	○
3 船橋南本町	0.023	0	0	0.050	○	○
4 市川二俣	0.020	0	0	0.051	○	○
5 市川行徳駅前	0.023	0	0	0.051	○	○
6 習志野谷津	0.021	0	0	0.050	○	○

注) 環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準（日平均値の2%除外値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下で、かつ、日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続していないこと）を達成。

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

表3-1.7(2) 浮遊粒子状物質年平均値の推移（一般局）

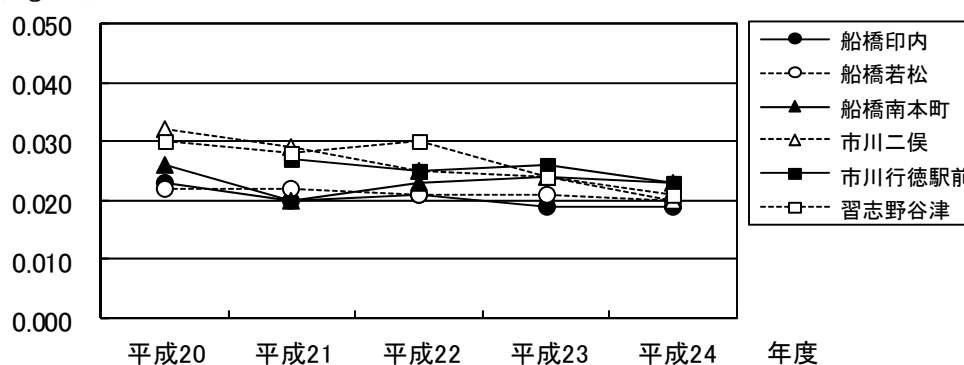
測定局\年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1	船橋印内	0.023	0.020	0.021	0.019	0.019
2	船橋若松	0.022	0.022	0.021	0.021	0.020
3	船橋南本町	0.026	0.020	0.023	0.024	0.023
4	市川二俣	0.032	0.029	0.025	0.024	0.020
5	市川行徳駅前	—	0.027	0.025	0.026	0.023
6	習志野谷津	0.030	0.028	0.030	0.024	0.021

単位：mg/m<sup>3</sup>

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

SPM年平均値

(mg/m<sup>3</sup>)



出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

図3-1.6 浮遊粒子状物質年平均値の推移（一般局）

対象事業実施区域及びその周辺の自排局における、浮遊粒子状物質の平成24年度の測定結果は、表3-1.8(1)に示すとおりである。また、浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化は、表3-1.8(2)及び図3-1.7に示すとおりである。

浮遊粒子状物質は、すべての測定局で日平均値の2%除外値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続したこともなく、環境基準の長期的評価を達成している。また、1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>を超えたことはなく、環境基準の短期的評価も達成している。

年平均値の経年変化は、各測定局とも概ね横ばい傾向となっている。

表3-1.8(1) 浮遊粒子状物質年間測定結果（自排局、平成24年度）

測定局	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間数 (時間)	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数 (日)	日平均値の 2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日が2日以上 連続したことの有無 (有×・無○)	環境基準 との比較
① 船橋海神	0.022	0	0	0.052	○	○
② 船橋日の出	0.020	0	0	0.050	○	○
③ 市川行徳	0.020	0	0	0.047	○	○
④ 習志野秋津	0.036	0	1	0.061	○	○

注) 環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準（日平均値の2%除外値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下で、かつ、日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続していないこと）を達成。

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

表3-1.8(2) 浮遊粒子状物質年平均値の推移（自排局）

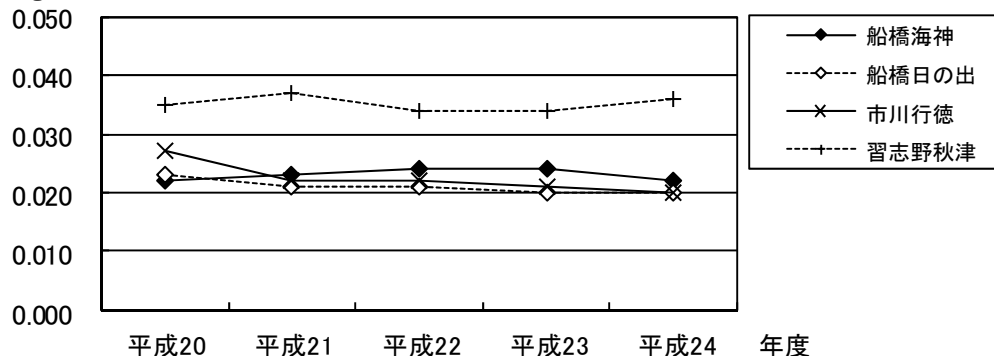
単位：mg/m<sup>3</sup>

測定局\年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
① 船橋海神	0.022	0.023	0.024	0.024	0.022
② 船橋日の出	0.023	0.021	0.021	0.020	0.020
③ 市川行徳	0.027	0.022	0.022	0.021	0.020
④ 習志野秋津	0.035	0.037	0.034	0.034	0.036

出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

SPM年平均値

(mg/m<sup>3</sup>)



出典：「平成24年度大気環境常時測定結果」（平成25年8月、千葉県）

図3-1.7 浮遊粒子状物質年平均値の推移（自排局）

## 6. 微小粒子状物質 (PM2.5)

対象事業実施区域及びその周辺の一般局における、平成24年度の測定結果は、表3-1.9(1)に示すとおりである。

船橋印内測定局では、平成24年度から測定が行われており、年間の総有効測定日数が250日未満であったが、測定値は環境基準の長期基準及び短期基準以下となっている。

表 3-1.9(1) 微小粒子状物質年間測定結果 (一般局、平成 24 年度)

測定局		短期基準		長期基準	
		1日平均値の 年間98%値	環境基準との比較	1年平均値	環境基準との比較
		$\mu\text{g}/\text{m}^3$		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
1	船橋印内	(32.8)	(○)	(14.3)	(○)

注1) 環境基準との比較 (短期基準) : ○は短期基準 (1日平均値の年間98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であることを) を達成。

注2) 環境基準との比較 (長期基準) : ○は長期基準 (1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であることを) を達成。

注3) ( ) は年間の総有効測定日数が250日未満。

出典 : 「平成24年度大気環境常時測定結果」 (平成25年8月、千葉県)

対象事業実施区域及びその周辺の自排局における、平成24年度の測定結果は、表3-1.9(2)に示すとおりである。

微小粒子状物質は、船橋日の出測定局及び市川行徳測定局では、環境基準の長期基準及び短期基準を達成していない。習志野秋津測定局については、年間の総有効測定日数が250日未満であったが、測定値は長期基準及び短期基準以下となっている。

表 3-1.9(2) 微小粒子状物質年間測定結果 (自排局、平成 24 年度)

測定局		短期基準		長期基準	
		1日平均値の 年間98%値	環境基準との比較	1年平均値	環境基準との比較
		$\mu\text{g}/\text{m}^3$		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
②	船橋日の出	47.0	×	15.9	×
③	市川行徳	40.8	×	15.3	×
④	習志野秋津	(33.0)	(○)	(13.1)	(○)

注1) 環境基準との比較 (短期基準) : ○は短期基準 (1日平均値の年間98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であることを) を達成。×は未達成。

注2) 環境基準との比較 (長期基準) : ○は長期基準 (1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であることを) を達成。×は未達成。

注2) ( ) は年間の総有効測定日数が250日未満。

出典 : 「平成24年度大気環境常時測定結果」 (平成25年8月、千葉県)

## 7. ダイオキシン類 (DXN)

対象事業実施区域及びその周辺における、ダイオキシン類の平成24年度の測定結果は、表3-1.10(1)に示すとおりである。また、ダイオキシン類の年平均値の経年変化は、表3-1.10(2)及び図3-1.8に示すとおりである。

ダイオキシン類は、船橋南本町測定局、習志野谷津測定局、習志野秋津測定局、行徳小学校及び市川南高校の5地点で測定されており、すべての測定地点で年平均値が0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下であり環境基準を達成している。

表3-1.10(1) ダイオキシン類年間測定結果 (平成24年度)

単位：pg-TEQ/ m<sup>3</sup>

測定局	年平均値	環境基準との比較	環境基準
3 船橋南本町	0.13	○	0.6以下
6 習志野谷津	0.034	○	
④ 習志野秋津	0.035	○	
ア 行徳小学校	0.026	○	
イ 市川南高校	0.038	○	

出典：「平成25年版船橋市の環境測定データ集 (平成24年度測定結果)」(船橋市ホームページ)  
 「ダイオキシン類に係る常時監視結果について (平成24年度)」(千葉県ホームページ)  
 「市川市環境白書 (平成25年版)」(市川市ホームページ)

表3-1.10(2) ダイオキシン類年平均値の推移

単位：pg-TEQ/ m<sup>3</sup>

測定局\年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
3 船橋南本町	0.11	0.13	0.11	0.067	0.13
6 習志野谷津	0.057	0.063	0.037	0.039	0.034
④ 習志野秋津	0.052	0.041	0.034	0.11	0.035
ア 行徳小学校	0.048	0.042	0.036	0.029	0.026
イ 市川南高校	0.068	0.066	0.043	0.043	0.038

出典：「平成25年版船橋市の環境測定データ集 (平成24年度測定結果)」(船橋市ホームページ)  
 「ダイオキシン類に係る常時監視結果について (平成20～24年度)」(千葉県ホームページ)  
 「市川市環境白書 (平成21～25年版)」(市川市ホームページ)

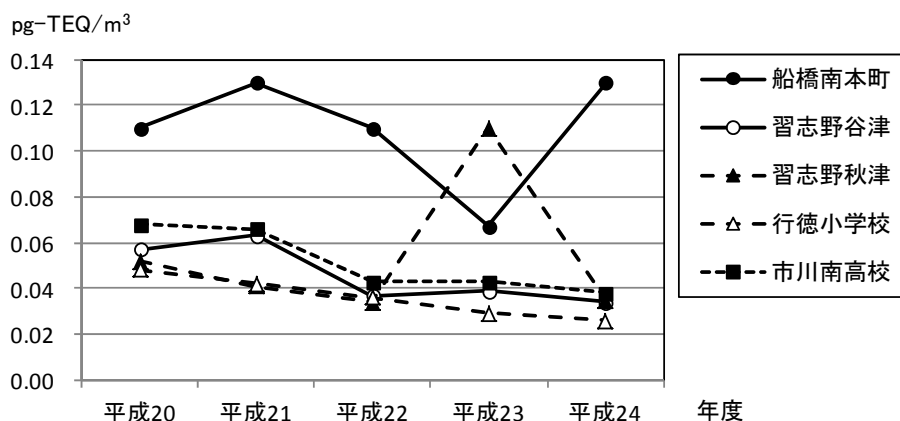


図3-1.8 ダイオキシン類の年平均値の推移

## 8. 降下ばいじん量

対象事業実施区域及びその周辺における、降下ばいじん量の平成24年度の測定結果は、表3-1.11(1)に示すとおりである。また、降下ばいじん量の年平均値の経年変化は、表3-1.11(2)に示すとおりである。

降下ばいじん量は、中央消防署で測定されており、年平均値が3.6t/km<sup>2</sup>/30日であった。  
なお、降下ばいじん量に環境基準は定められていない。

表3-1.11(1) 降下ばいじん量の年間測定結果（平成24年度）

単位：t/km<sup>2</sup>/30日

測定局		測定結果
ウ	中央消防署	3.6

出典：「平成25年版船橋市の環境測定データ集（平成24年度測定結果）」  
（船橋市ホームページ）

表3-1.11(2) 降下ばいじん量の年平均値の推移

単位：t/km<sup>2</sup>/30日

測定局\年度		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
ウ	中央消防署	2.0	2.4	2.7	3.5	3.6

出典：「平成21年～25年版船橋市の環境測定データ集（平成20～24年度測定結果）」（船橋市ホームページ）

### 3-1-2 気象の状況

気象庁船橋地域気象観測所（対象事業実施区域から北東約8.2km）における10年間（平成16～25年）の気象概況は、表3-1.12(1)～(3)に示すとおりである。なお、船橋地域気象観測所の概要及び位置は、図3-1.9及び表3-1.13に示すとおりである。

過去10年間の平均を見ると、年間平均降水量は1,487.3mm（最大日降水量：224.0mm）、年間平均気温は15.4℃（最高気温：39.0℃、最低気温：-4.7℃）、年間平均風速は1.9m/秒（最大風速：10.3m/秒）となっている。

表3-1.12(1) 船橋地域気象観測所の気象概況（降水量）

項目 年	年間(月間) 降水量 (mm)	最大日降水量		最大時間降水量	
		(mm)	起日	(mm)	起日
平成16年	1,531	132	10月9日	26	9月4日
平成17年	1,231	70	7月26日	36	7月6日
平成18年	1,666	154	10月6日	23	9月26日
平成19年	1,203	107	10月27日	21 <sup>注)</sup>	9月12日
平成20年	1,583	80	6月22日	36 <sup>注)</sup>	8月30日
平成21年	1,675	122	8月10日	38	8月10日
平成22年	1,687	164	9月8日	40	9月8日
平成23年	1,322	97	9月21日	23	10月22日
平成24年	1,493	63	6月19日	39	6月22日
平成25年	1,482.0	224.0	10月16日	58.5	10月16日
1月	68.5	53.5	1月14日	6.5	1月14日
2月	36.0	14.5	2月6日	4.0	2月13日
3月	41.5	16.0	3月1日	12.0	3月1日
4月	192.0	66.5	4月3日	16.5	4月25日
5月	70.0	26.5	5月11日	6.5	5月20日
6月	171.0	48.0	6月25日	39.5	6月25日
7月	59.5	22.0	7月29日	17.0	7月29日
8月	43.5	17.0	8月27日	15.0	8月22日
9月	194.5	95.0	9月15日	42.0	9月15日
10月	514.5	224.0	10月16日	58.5	10月16日
11月	34.0	15.5	11月4日	10.5	11月26日
12月	57.0	19.0	12月19日	9.0	12月10日
全期間	平均 1,487.3	最大 224.0	—	最大 58.5	—

注) — — — は、観測場所を移転した場合、観測装置を変更した場合及び観測の時間間隔を変更した場合に、その前後のデータが均質でないことを示す。

出典：「気象統計情報」（気象庁ホームページ）

表3-1.12(2) 船橋地域気象観測所の気象概況（気温）

年	年間(月間) 平均気温 (℃)	最高気温		最低気温	
		(℃)	起日	(℃)	起日
平成16年	15.9	38.0	7月20日	-2.9	2月 8日
平成17年	14.8	35.2	8月 5日	-3.6	12月25日
平成18年	15.1	35.0	8月 5日	-4.4	2月 5日
平成19年	15.7	37.1 <sup>注)</sup>	8月16日	-1.5 <sup>注)</sup>	2月25日
平成20年	15.2	36.5 <sup>注)</sup>	8月 8日	-2.8 <sup>注)</sup>	2月18日
平成21年	15.5	33.2	7月16日	-2.4	1月13日
平成22年	15.7	36.9	8月17日	-3.4	1月14日
平成23年	15.4	36.0	8月11日	-3.8	1月31日
平成24年	15.0	35.2	8月25日	-4.7	2月19日
平成25年	15.7	39.0	8月11日	-3.1	1月 6日 2月25日
1月	4.0	13.3	1月 2日	-3.1	1月 6日
2月	4.8	16.5	2月 2日	-3.1	2月25日
3月	10.8	24.5	3月19日	0.9	3月 3日
4月	14.0	23.5	4月18日	2.8	4月12日
5月	18.5	28.6	5月14日	7.9	5月 8日
6月	21.5	29.7	6月 9日	12.4	6月 3日
7月	25.7	36.3	7月 8日	18.0	7月 2日
8月	28.0	39.0	8月11日	19.1	8月27日
9月	23.8	34.2	9月 1日	12.5	9月27日
10月	18.6	29.6	10月12日	9.1	10月28日
11月	11.9	21.5	11月 8日	1.9	11月14日
12月	6.7	16.3	12月 6日	-2.1	12月29日 12月30日
全期間	平均 15.4	最高 39.0	—	最低 -4.7	—

表3-1.12(3) 船橋地域気象観測所の気象概況（風速及び年間日照時間）

年	年間(月間) 平均風速 (m/秒)	最大風速			年間(月間) 日照時間 (時間)
		(m/秒)	風向	起日	
平成16年	1.8	10	南西	12月 5日	2,100.3
平成17年	1.8	8	西北西	8月26日	1,921.4
平成18年	1.8	10	南西	3月17日	1,485.4
平成19年	1.8	9 <sup>注)</sup>	南東	9月 6日	1,816.7 <sup>注)</sup>
平成20年	1.8	9.4 <sup>注)</sup>	北東	4月 8日	1,865.6 <sup>注)</sup>
平成21年	1.9	8.8	北東	1月31日	1,793.9
平成22年	1.9	10.3	南南西	3月21日	2,035.2
平成23年	1.9	9.4	南	9月21日	2,116.6
平成24年	1.9	9.1	南南西	6月20日	2,087.8
平成25年	1.9	9.8	北北西	10月16日	2,191.3
1月	1.7	6.9	南西	1月 2日	208.3
2月	2.0	8.2	北北西	2月13日	170.5
3月	2.4	8.7	南西	3月13日	184.6
4月	2.5	8.8	南西	4月 7日	201.2
5月	2.1	7.1	北西	5月 7日	240.7
6月	1.8	6.9	南西	6月19日	110.5
7月	1.8	5.6	南南西	7月 5日	174.4
8月	1.9	5.8	南西	8月31日	240.6
9月	1.9	8.7	南西	9月16日	180.9
10月	2.0	9.8	北北西	10月16日	116.0
11月	1.6	6.5	南西	11月25日	178.6
12月	1.5	8.1	南西	12月13日	185.0
全期間	平均 1.9	最大 10.3	—	—	平均 1,966.5

注) --- は、観測場所を移転した場合、観測装置を変更した場合及び観測の時間間隔を変更した場合に、その前後のデータが均質でないことを示す。

出典：「気象統計情報」（気象庁ホームページ）



表3-1.13 船橋地域気象観測所の概要

所在地	北緯	東経	観測所の 標高	風速計の 地上高さ	温度計の 地上高さ	観測開始年月日
船橋市葉円台	35度42.7分	140度2.6分	28m	7.9m	1.5m	平成11年8月3日

出典：「地域気象観測所一覧」（気象庁ホームページ）

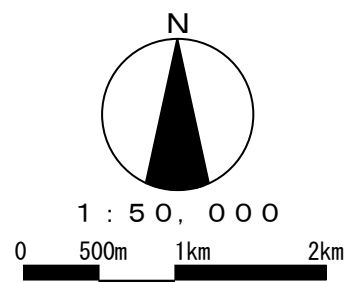


凡 例

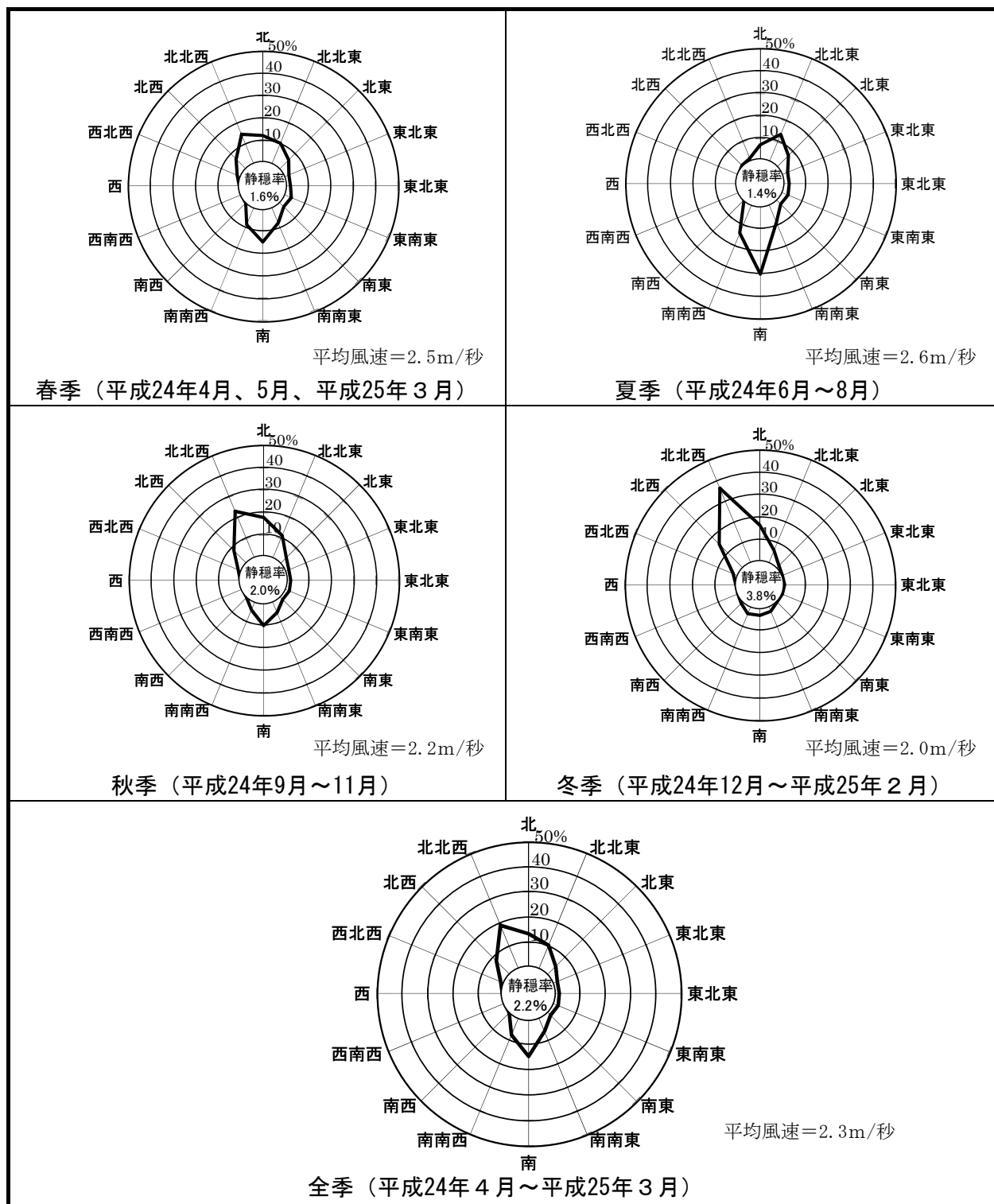
- ◎ 対象事業実施区域
- .- 市境
- 船橋地域気象観測所

この地図は、国土地理院発行の1：50,000地形図「東京東北部」「東京東南部」「佐倉」「千葉」を使用したものである。

図 3-1.9 対象事業実施区域周辺の気象観測地点

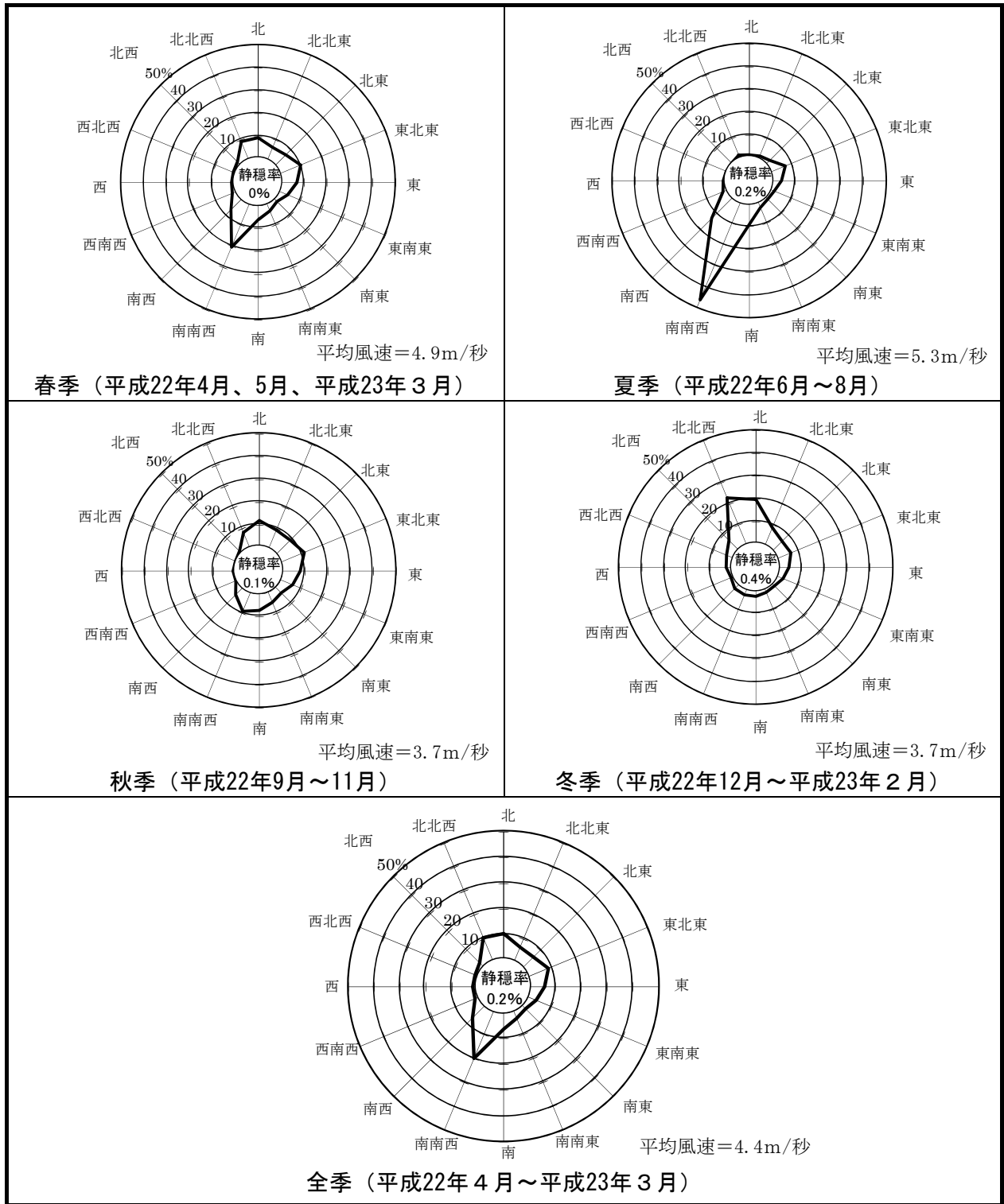


また、船橋南本町測定局及び既存南部清掃工場における季節別風配図は、図3-1.10(1)、(2)に示すとおりである。全季の風配図を見ると、船橋南本町測定局では北北西及び南の風が、既存南部清掃工場では南南西の風が多くなっている。



出典：「千葉県の大気環境測定データ」(千葉県ホームページ)より作成

図3-1.10(1) 船橋南本町測定局における風配図



出典：船橋市資料より作成

図3-1.10(2) 既存南部清掃工場における風配図

### 3-1-3 水質の状況

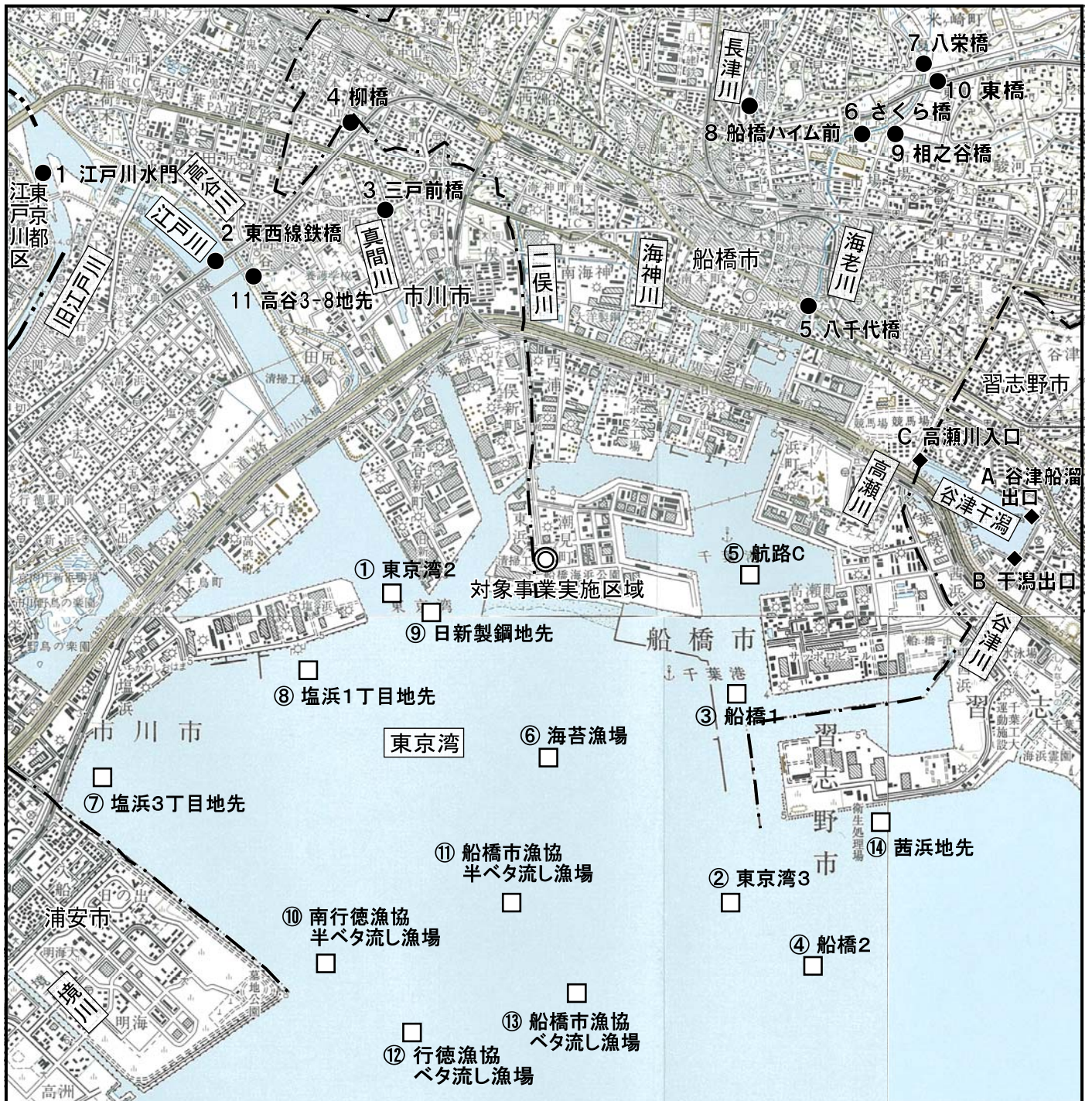
対象事業実施区域及びその周辺において実施されている公共用水域の水質測定地点は、表3-1.14及び図3-1.11に示すとおりである。河川及び谷津干潟（汽水域）における測定結果は表3-1.15(1)～(3)に、海域における測定結果は表3-1.16(1)～(3)に示すとおりである。

環境基準が設定されている測定地点のうち、河川及び谷津干潟（汽水域）では、江戸川水門で大腸菌群数が環境基準値を超過している。また、海域では、COD、全窒素及び全リンで環境基準値を超過している値がみられる。

表3-1.14 公共用水域水質測定地点（平成24年度）

区分	水域名	地点番号	地点名	類型	調査機関名
河川	江戸川中流	1	江戸川水門	河川B	国土交通省
	江戸川下流	2	東西線鉄橋	河川C	国土交通省
	真間川	3	三戸前橋	河川E	市川市
		4	柳橋	—	船橋市
	海老川	5	八千代橋	河川E	船橋市
		6	さくら橋	河川E	船橋市
		7	八栄橋	河川E	船橋市
	長津川	8	船橋ハイム前	—	船橋市
	前原川	9	相之谷橋	—	船橋市
	飯山満川	10	東橋	—	船橋市
	高谷川	11	高谷3-8地先	—	市川市
谷津干潟 (汽水域)	谷津干潟	A	谷津船溜出口	—	習志野市
	谷津川	B	干潟出口	—	習志野市
	高瀬川	C	高瀬川入口	—	習志野市
海域	東京湾	①	東京湾 2	海域C (IV) 特A	千葉県
		②	東京湾 3	海域B (IV) A	千葉県
		③	船橋 1	海域C (IV) A	船橋市
		④	船橋 2	海域B (IV) A	船橋市
		⑤	航路C	海域C (IV) A	船橋市
		⑥	海苔漁場	海域B (IV) 特A	船橋市
		⑦	塩浜 3丁目地先	海域C (IV)	市川市
		⑧	塩浜 1丁目地先	海域C (IV)	市川市
		⑨	日新製鋼地先	海域C (IV)	市川市
		⑩	南行徳漁協半ベタ流し漁場	海域B (IV)	市川市
		⑪	船橋市漁協半ベタ流し漁場	海域B (IV)	市川市
		⑫	行徳漁協ベタ流し漁場	海域C (IV)	市川市
		⑬	船橋市漁協ベタ流し漁場	海域C (IV)	市川市
		⑭	茜浜地先	海域C (IV)	習志野市

出典：「公共用水域地点別水質測定結果データベース」（千葉県ホームページ）  
「河川や海域の水質状況（平成24年度）」（船橋市ホームページ）  
「平成25年版 市川市環境白書」（市川市ホームページ）  
「平成25年版 習志野市環境白書」（習志野市ホームページ）



凡例

- ◎ 対象事業実施区域
- 水質測定地点 (河川)
- 市境
- ◆ 水質測定地点 (谷津干潟(汽水域))
- - - 都県境
- 水質測定地点 (海域)

出典：「公共用水域地点別水質測定結果データベース」(千葉県ホームページ)  
 「河川や海域の水質状況(平成24年度)」(船橋市ホームページ)  
 「平成25年版 市川市環境白書」(市川市ホームページ)  
 「平成25年版 習志野市環境白書」(習志野市ホームページ)

この地図は、国土院発行の1:50,000地形図「東京東北部」「東京東南部」「佐倉」「千葉」を使用したものである。

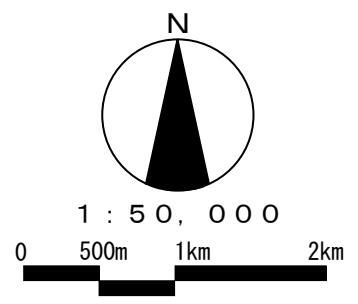


図 3-1.11 公共用水域水質測定地点図

表3-1.15(1) 水質測定結果 (河川・谷津干潟(汽水域))

項目	測定地点名	河川				環境基準		
		江戸川中流	江戸川下流	真間川				
		江戸川水門	東西線鉄橋	三戸前橋	柳橋	河川B	河川C	河川E
	類型	河川B	河川C	河川E	—	河川B	河川C	河川E
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.9	8.1	7.4	7.4	6.5~8.5	6.5~8.5	6.0~8.5
	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	9.8	7.9	4.8	5.9	5 以上	5 以上	2 以上
	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	1.4	4.9	5.5	3.7*	3 以下	5 以下	10 以下
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	3.7	6.6	8.3	6.1*	—	—	—
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	8	11	5	4	25 以下	50 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	9,600	—	—	96,000	5000以下	—	—
	N-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	—	—	<0.5	<0.5	—	—	—
	全窒素 (mg/L)	2.2	1.1	6.6	6.0	—	—	—
	全リン (mg/L)	0.081	0.15	0.62	0.53	—	—	—
	全亜鉛 (mg/L)	0.006	0.011	0.022	0.012	—	—	—
健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0005	<0.0005	0.003 以下		
	全シアン (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	不検出	検出されないこと		
	鉛 (mg/L)	<0.001	0.001	0.001	<0.001	0.01 以下		
	六価クロム (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下		
	砒素 (mg/L)	0.001	0.002	0.001	0.001	0.01 以下		
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下		
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	—	検出されないこと		
	PCB (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	検出されないこと		
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	—	0.02 以下		
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下		
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	0.004 以下		
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	—	0.1 以下		
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	—	0.04 以下		
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下		
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	0.006 以下		
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03 以下		
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下		
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	0.002 以下		
	チウラム (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	0.006 以下		
	シマジン (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	0.003 以下		
	チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	—	0.02 以下		
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	—	0.01 以下		
	セレン (mg/L)	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下		
ふっ素 (mg/L)	0.10	—	0.17	0.09	0.8 以下			
ほう素 (mg/L)	<0.1	—	0.4	—	1 以下			
1,4-ジオキサン (mg/L)	—	—	<0.005	<0.005	0.05 以下			
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	1.7	0.20	3.6	3.4	10 以下			
参考	亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.012	0.017	0.33	—	—		
	硝酸性窒素 (mg/L)	1.7	0.19	3.3	—	—		

注) 表中の値は、年平均値。BOD及びCODについては、\*は年平均値、それ以外は75%値を記載している。

出典：「公共用水域地点別水質測定結果データベース」(千葉県ホームページ)

「河川や海域の水質状況 (平成24年度)」(船橋市ホームページ)

表3-1.15(2) 水質測定結果（河川・谷津干潟(汽水域)）

項目	測定地点名	河川				環境基準
		海老川			長津川	
		八千代橋	さくら橋	八栄橋	船橋ハイム前	
類型	河川E	河川E	河川E	—	河川E	
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.6	7.6	7.7	7.6	6.0~8.5
	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	6.2	7.0	8.0	5.6	2 以上
	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	3.0*	4.5*	4.4*	3.9*	10 以下
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	5.2*	6.4*	6.1*	6.1*	—
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	3	7	10	4	ごみ等の浮遊が認められないこと
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	310,000	230,000	—	61,000	—
	N-ヘキササン抽出物質 (mg/L)	<0.5	<0.5	—	<0.51	—
	全窒素 (mg/L)	7.1	7.9	8.2	10	—
	全燐 (mg/L)	0.62	0.67	0.53	0.73	—
	全亜鉛 (mg/L)	0.012	0.015	—	0.014	—
健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	0.003 以下
	全シアン (mg/L)	不検出	不検出	—	不検出	検出されないこと
	鉛 (mg/L)	0.001	<0.001	—	<0.001	0.01 以下
	六価クロム (mg/L)	<0.005	<0.005	—	<0.005	0.05 以下
	砒素 (mg/L)	0.001	<0.001	—	<0.001	0.01 以下
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	—	検出されないこと
	P C B (mg/L)	不検出	—	—	不検出	検出されないこと
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	—	—	—	0.02 以下
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	—	—	—	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.01	—	—	—	0.1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	—	—	—	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.1	<0.1	—	<0.1	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	—	—	—	0.006 以下
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.003	<0.003	—	<0.003	0.03 以下
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	—	<0.001	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	—	—	—	0.002 以下
	チウラム (mg/L)	<0.0006	—	—	—	0.006 以下
	シマジン (mg/L)	<0.0003	—	—	—	0.003 以下
	チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	—	—	—	0.02 以下
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	—	—	—	0.01 以下
	セレン (mg/L)	<0.001	<0.001	—	<0.001	0.01 以下
	ふっ素 (mg/L)	0.17	0.12	—	0.09	0.8 以下
	ほう素 (mg/L)	0.4	—	—	—	1 以下
	1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005	—	<0.005	0.05 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	5.0	5.0	6.8	6.3	10 以下	
参考	亜硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—
	硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—

注) 表中の値は、年平均値。BOD及びCODについては、\*は年平均値、それ以外は日平均値の75%値を記載している。  
 出典：「河川や海域の水質状況（平成24年度）」（船橋市ホームページ）

表3-1.15(3) 水質測定結果（河川・谷津干潟(汽水域)）

項目	測定地点名	河川			谷津干潟		
		前原川	飯山満川	高谷川	谷津干潟	谷津川	高瀬川
		相之谷橋	東橋	高谷3-8地先	谷津船溜出口	干潟出口	高瀬川入口
	類型	—	—	—	—	—	—
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.7	7.6	7.7	7.9	8.0	7.9
	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	5.5	6.6	6.4	5.9	6.6	6.9
	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	6.9*	3.3*	7.6*	—	—	—
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	8.9*	5.8*	9.7*	5.8	7.4	4.8
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	6	5	11	18	8	11
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	—	—	—	42,000	3,200	1,500
	N-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	全窒素 (mg/L)	7.9	8.3	—	2.6	1.6	1.5
	全磷 (mg/L)	1.5	0.54	—	0.22	0.15	0.15
	全亜鉛 (mg/L)	—	—	—	0.037	0.011	0.016
健康項目	カドミウム (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	全シアン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	鉛 (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	六価クロム (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	砒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	総水銀 (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	P C B (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	ジクロロメタン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	—	—	—	—	—
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.1	—	—	—	—	—
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.003	—	—	—	—	—
	テトラクロロエチレン (mg/L)	0.001	—	—	—	—	—
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	チウラム (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	シマジン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	チオベンカルブ (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	ベンゼン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
	セレン (mg/L)	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	
ほう素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	
1,4-ジオキサン (mg/L)	—	—	—	—	—	—	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	1.1	7.0	—	—	—	—	
参考	亜硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	
	硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	

注) 表中の値は、年平均値。BOD及びCODについては、\*は年平均値、それ以外は日平均値の75%値を記載している。

出典：「河川や海域の水質状況（平成24年度）」（船橋市ホームページ）

「平成25年版 市川市環境白書」（市川市ホームページ）

「平成25年版 習志野市環境白書」（習志野市ホームページ）



表3-1.16(1) 水質測定結果（海域）

項目	測定地点名	海域				環境基準		
		東京湾						
		東京湾2	東京湾3	船橋1	船橋2	海域 B(IV)A	海域 C(IV)特A	海域 C(IV)A
	類型	海域 C(IV)特A	海域 B(IV)A	海域 C(IV)A	海域 B(IV)A	海域 B(IV)A	海域 C(IV)特A	海域 C(IV)A
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	8.2	8.3	7.9	8.1	7.8~8.3	7.0~8.3	7.0~8.3
	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	7.0	7.2	6.7	7.7	5 以上	2 以上	2 以上
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	5.2	4.8	4.2	4.8	3 以下	8 以下	8 以下
	浮遊物質量 (SS) (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	500	25	1,200	160	—	—	—
	N-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	検出されないこと	検出されないこと	—
	全窒素 (mg/L)	1.1	0.93	0.91	0.77	1 以下	1 以下	1 以下
	全磷 (mg/L)	0.13	0.088	0.14	0.10	0.09 以下	0.09 以下	0.09 以下
	全亜鉛 (mg/L)	0.004	0.004	0.010	0.007	0.02 以下	0.01 以下	0.02 以下
健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003 以下		
	全シアン (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと		
	鉛 (mg/L)	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.01 以下		
	六価クロム (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下		
	砒素 (mg/L)	0.002	0.002	0.001	0.001	0.01 以下		
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下		
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	—	検出されないこと		
	P C B (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと		
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下		
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下		
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下		
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1 以下		
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下		
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下		
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下		
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03 以下		
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下		
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下		
	チウラム (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下		
	シマジン (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下		
	チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下		
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下		
	セレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下		
	ふっ素 (mg/L)	—	—	—	—	0.8 以下		
	ほう素 (mg/L)	—	—	—	—	1 以下		
	1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下		
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.35	0.30	0.31	0.29	10 以下		
参考	亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.04	0.03	0.058	0.061	—		
	硝酸性窒素 (mg/L)	0.31	0.27	0.25	0.23	—		
その他	クロロフィルa (μg/L)	19	14	14	16	—		

注) 表中の値は、年平均値。BOD及びCODについては75%値を記載している。

出典：「公共用水域地点別水質測定結果データベース」(千葉県ホームページ)

「河川や海域の水質状況(平成24年度)」(船橋市ホームページ)

表3-1.16(2) 水質測定結果（海域）

項目	測定地点名	海域					環境基準	
		東京湾						
		航路C	海苔漁場	塩浜3丁目地先	塩浜1丁目地先	日新製鋼地先		
類型	海域C(IV)A	海域B(IV)特A	海域C(IV)	海域C(IV)	海域C(IV)	海域B(IV)特A	海域C(IV)A	
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	8.0	8.1	8.0	8.2	8.2	7.8~8.3	7.0~8.3
	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	8.1	8.3	7.8	8.8	10	5 以上	2 以上
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	4.5*	3.9*	4.5*	4.5*	5.1*	3 以下	8 以下
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	—	—	7	6	7	—	—
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	240	170	—	—	—	—	—
	N-ヘキサノール抽出物質 (mg/L)	<0.5	不検出	—	—	—	検出されないこと	—
	全窒素 (mg/L)	1.1	0.92	1.2	1.1	1.2	1 以下	1 以下
	全リン (mg/L)	0.16	0.11	0.19	0.09	0.11	0.09 以下	0.09 以下
	全亜鉛 (mg/L)	0.008	0.008	—	—	—	0.01 以下	0.02 以下
健康項目	カドミウム (mg/L)	—	<0.0005	—	—	—	0.003 以下	—
	全シアン (mg/L)	—	不検出	—	—	—	検出されないこと	—
	鉛 (mg/L)	—	<0.001	—	—	—	0.01 以下	—
	六価クロム (mg/L)	—	<0.005	—	—	—	0.05 以下	—
	砒素 (mg/L)	—	0.001	—	—	—	0.01 以下	—
	総水銀 (mg/L)	—	<0.0005	—	—	—	0.0005 以下	—
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	—	—	検出されないこと	—
	PCB (mg/L)	—	—	—	—	—	検出されないこと	—
	ジクロロメタン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.02 以下	—
	四塩化炭素 (mg/L)	—	—	—	—	—	0.002 以下	—
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.004 以下	—
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.1 以下	—
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.04 以下	—
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	1 以下	—
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.006 以下	—
	トリクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.03 以下	—
	テトラクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.01 以下	—
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.002 以下	—
	チウラム (mg/L)	—	—	—	—	—	0.006 以下	—
	シマジン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.003 以下	—
	チオベンカルブ (mg/L)	—	—	—	—	—	0.02 以下	—
	ベンゼン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.01 以下	—
	セレン (mg/L)	—	<0.001	—	—	—	0.01 以下	—
	ふっ素 (mg/L)	—	—	—	—	—	0.8 以下	—
	ほう素 (mg/L)	—	—	—	—	—	1 以下	—
1,4-ジオキサン (mg/L)	—	<0.005	—	—	—	0.05 以下	—	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.43	0.30	—	—	—	10 以下	—	
参考	亜硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—
	硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—
その他	クロロフィルa (μg/L)	—	—	10	25	41	—	—

注) 表中の値は、年平均値。BOD及びCODについては、\*は年平均値、それ以外は75%値を記載している。

出典：「河川や海域の水質状況（平成24年度）」（船橋市ホームページ）

「平成25年版 市川市環境白書」（市川市ホームページ）

表3-1.16(3) 水質測定結果（海域）

項目	測定地点名	海域					環境基準	
		東京湾						
		南行徳漁協 半ベタ流し 漁場	船橋市漁協 半ベタ流し 漁場	行徳漁協 ベタ流し 漁場	船橋市漁協 ベタ流し 漁場	茜浜地先		
類型	海域B (IV)	海域B (IV)	海域B (IV)	海域B (IV)	海域C (IV)	海域B (IV)	海域C (IV)	
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	7.8~8.3	7.0~8.3
	溶存酸素量 (DO) (mg/L)	9.0	9.3	10	10	7.7	5 以上	2 以上
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	4.3*	4.3*	3.7*	4.5*	6.2	3 以下	8 以下
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	5	5	4	5	10	—	—
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	—	—	—	—	—	—	—
	N-ヘキサノール抽出物質 (mg/L)	—	—	—	—	—	検出されないこと	—
	全窒素 (mg/L)	0.94	0.87	0.98	0.95	1.5	1 以下	1 以下
	全リン (mg/L)	0.13	0.06	0.053	0.06	0.11	0.09 以下	0.09 以下
	全亜鉛 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—
健康項目	カドミウム (mg/L)	—	—	—	—	—	0.003 以下	
	全シアン (mg/L)	—	—	—	—	—	検出されないこと	
	鉛 (mg/L)	—	—	—	—	—	0.01 以下	
	六価クロム (mg/L)	—	—	—	—	—	0.05 以下	
	砒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	0.01 以下	
	総水銀 (mg/L)	—	—	—	—	—	0.0005 以下	
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	—	—	検出されないこと	
	PCB (mg/L)	—	—	—	—	—	検出されないこと	
	ジクロロメタン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.02 以下	
	四塩化炭素 (mg/L)	—	—	—	—	—	0.002 以下	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.004 以下	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.1 以下	
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.04 以下	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	1 以下	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.006 以下	
	トリクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.03 以下	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.01 以下	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.002 以下	
	チウラム (mg/L)	—	—	—	—	—	0.006 以下	
	シマジン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.003 以下	
	チオベンカルブ (mg/L)	—	—	—	—	—	0.02 以下	
	ベンゼン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.01 以下	
	セレン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.01 以下	
ふっ素 (mg/L)	—	—	—	—	—	0.8 以下		
ほう素 (mg/L)	—	—	—	—	—	1 以下		
1,4-ジオキサン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.05 以下		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	10 以下		
参考	亜硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	
	硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	
その他	クロロフィルa (μg/L)	18	19	25	28	—	—	

注) 表中の値は、年平均値。BOD及びCODについては、\*は年平均値、それ以外は75%値を記載している。

出典：「平成25年版 市川市環境白書」(市川市ホームページ)

「平成25年版 習志野市環境白書」(習志野市ホームページ)

また、対象事業実施区域及びその周辺において実施されている、水質のダイオキシン類調査について、過去5年間における測定結果は表3-1.17に、測定地点は図3-1.12に示すとおりである。

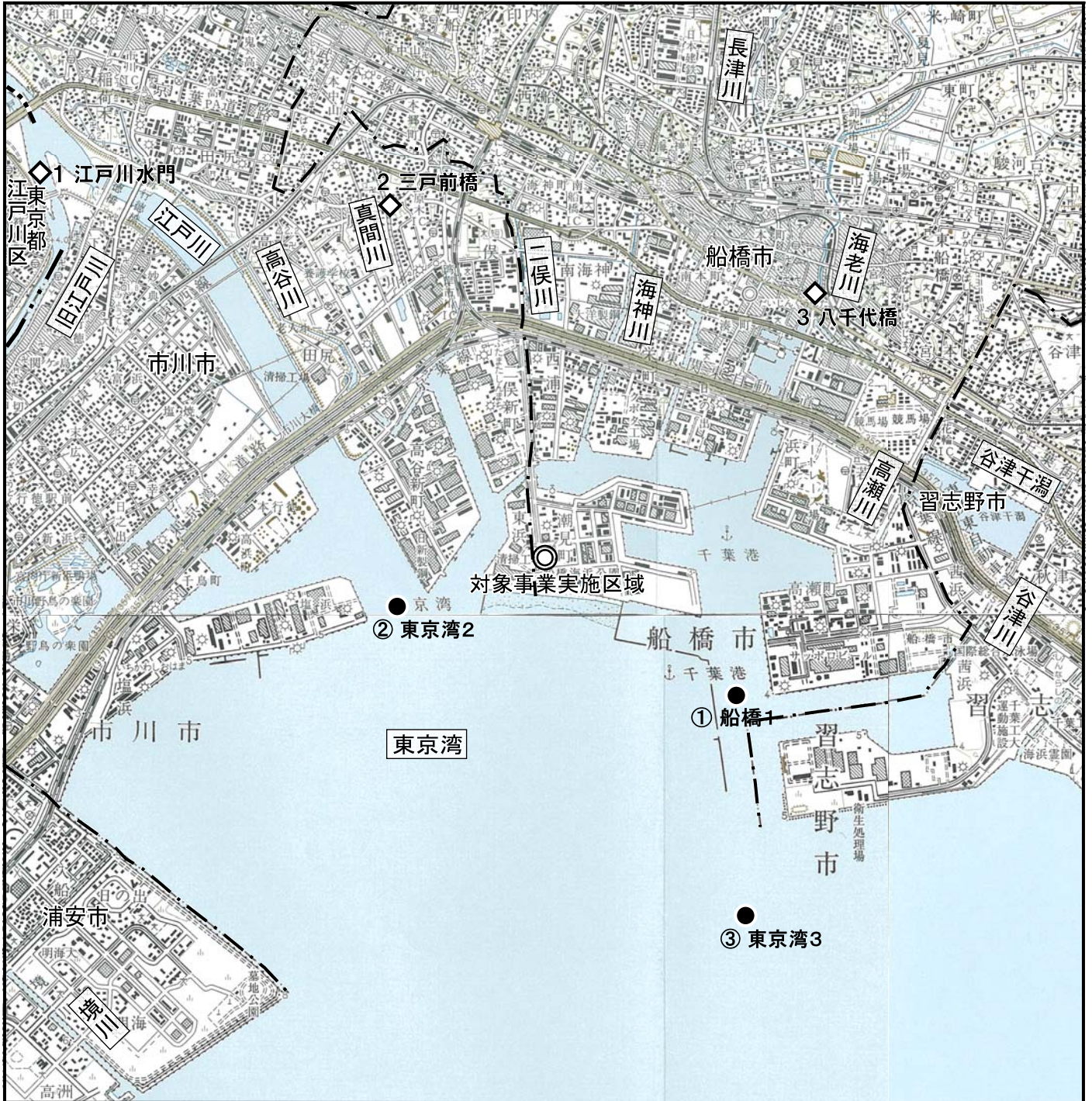
測定結果は、いずれの地点もすべての年度において環境基準を達成している。

表3-1.17 ダイオキシン類の測定結果

単位：pg-TEQ/L

区分	水域名	地点番号	地点名	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	環境基準
河川	江戸川	1	江戸川水門	0.10	0.15	0.15	0.078	0.53	1以下
	真間川	2	三戸前橋	0.10	0.12	0.093	0.11	0.11	
	海老川	3	八千代橋	0.15	0.054	0.089	0.10	0.079	
海域	東京湾	①	船橋1	0.079	0.079	0.12	0.14	0.21	
		②	東京湾2	—	0.049	—	—	—	
		③	東京湾3	—	0.018	—	—	—	

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について（平成20～24年度）」（千葉県ホームページ）



凡例

- ◎ 対象事業実施区域
- ◆ ダイオキシン類調査地点 (河川)
- · — 市境
- ダイオキシン類調査地点 (海域)
- · · — 都県境

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について（平成20～24年度）」  
 (千葉県ホームページ)

この地図は、国土地理院発行の1：50,000地形図「東京東北部」「東京東南部」「佐倉」「千葉」を使用したものである。

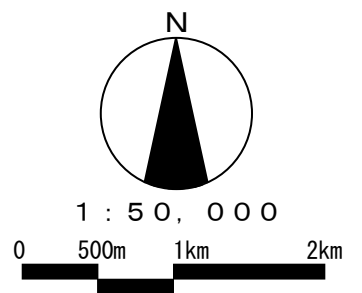


図 3-1.12 ダイオキシン類調査地点図 (水質)

### 3-1-4 水象の状況

対象事業実施区域及びその周辺の主要な河川、海域等の状況は、表3-1. 18及び図3-1. 13に示すとおりである。

対象事業実施区域は、東京湾奥部の埋立地であり、四方を海域に囲まれている。周辺の主要な河川としては、対象事業実施区域西側の江戸川のほか、真間川、海老川などが東京湾へ流れ込んでいる。また、ふなばし三番瀬海浜公園、市川野鳥の楽園、谷津干潟等の干潟が存在している。

表3-1. 18 主要な河川

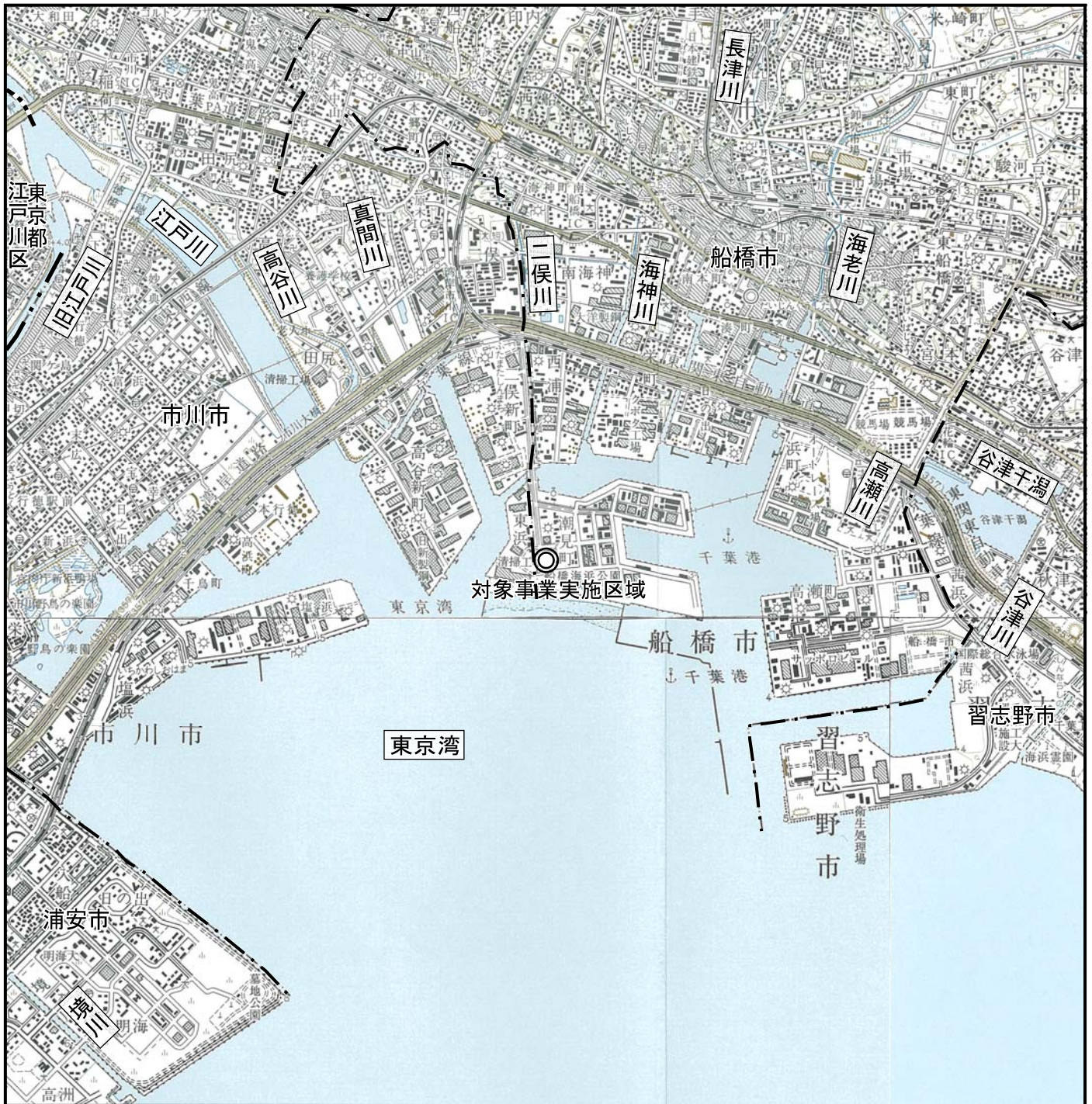
#### 一級河川

水系名	河川名	区 分		延長 (km)
		上流端	下流端	
利根川	江戸川	利根川からの分派点		左岸 53.3
				右岸 3.5
	真間川	江戸川からの分派点		左右岸各 8.5
	高谷川	市川市稲荷木213番の6 地先の県道橋	真間川への合流点	左右岸各 3.8
	旧江戸川	江戸川からの分派点		左岸 9.3
	境川	旧江戸川からの分派点		左右岸各 4.8

#### 二級河川

水系名	河川名	区 分		延長 (km)
		上流端	下流端	
海老川	海老川	左右岸 船橋市米ヶ崎地先 市道夏見米ヶ崎線八栄橋上流端	海に至る	左右岸各 2.7
	長津川	左岸 船橋市旭町693番7 地先 右岸 船橋市前貝塚425番11地先 (市道2144号線下流端)	海老川への合流点	左右岸各 3.0
高瀬川	高瀬川	左岸 船橋市高瀬町67番地先 右岸 船橋市若松2丁目12番地先	海に至る	左右岸各 0.8
谷津川	谷津川	左岸 習志野市秋津5丁目10番2 地先 右岸 習志野市秋津5丁目2番2 地先	海に至る	左右岸各 1.1

出典：「平成24年 千葉県統計年鑑」（千葉県ホームページ）



凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- · — 市境
- · · — 都県境
- 河川
- 海域等

この地図は、国土地理院発行の1:50,000地形図「東京東北部」「東京東南部」「佐倉」「千葉」を使用したものである。

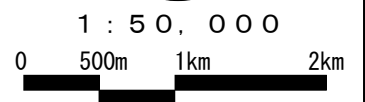
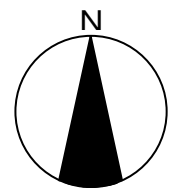


図 3-1.13 水象の状況

### 3-1-5 水底の底質の状況

対象事業実施区域及びその周辺では、水底の底質について、船橋市及び市川市で調査が行われている。最新の調査である平成24年度の水底の底質調査結果は、河川は表3-1.19に、海域は表3-1.20(1)、(2)に示すとおりである。なお、底質調査地点は、図3-1.14に示すとおりである。

表3-1.19 底質調査結果（河川）

項 目	単 位	海老川		長津川	真間川	
		1 八千代橋	2 さくら橋	3 船橋ハイム前	4 柳橋	
観測項目	色相	—	黒色	オリーブ黒色	黒色	
	臭気	—	微腐敗性臭気	無臭	微腐敗性臭気	
	状態	—	シルト質	砂土	砂土+シルト質	
基本項目	酸化還元電位	mV	-385	-12	-273	-383
	乾燥減量 (含水率)	%	25.3	18.5	28.8	55.3
	強熱減量	%	3.4	2.0	5.8	15.4
	微細泥率	%	6.2	0.8	12.4	58.9
	pH	—	7.9	7.5	7.5	7.6
富栄養化項目	全窒素	mg/g	0.77	0.26	1.33	7.28
	全りん	mg/g	0.55	0.61	0.96	4.14
	全炭素	mg/g	3.6	13.0	23.3	55.2
金属等	PCB	mg/kg	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
	水銀	mg/kg	0.31	0.02	0.05	0.41
	カドミウム	mg/kg	0.2	0.2	0.3	0.8
	鉛	mg/kg	12.7	12.3	39.6	46.1
	砒素	mg/kg	4.2	3.2	3.4	9.6
	セレン	mg/kg	0.1	<0.1	0.2	0.7
	鉄	mg/kg	20,300	19,800	26,400	19,900
	マンガン	mg/kg	152	174	256	315
	亜鉛	mg/kg	143	131	324	467
	銅	mg/kg	29.9	16.2	55.9	154
	クロム	mg/kg	16.7	15.0	27.3	49.3
その他	硫化物	mg/kg	1,130	10	540	5,670

出典：「河川や海域の水質状況（平成24年度）」（船橋市ホームページ）



表3-1.20(1) 底質調査結果（海域：船橋市実施分）

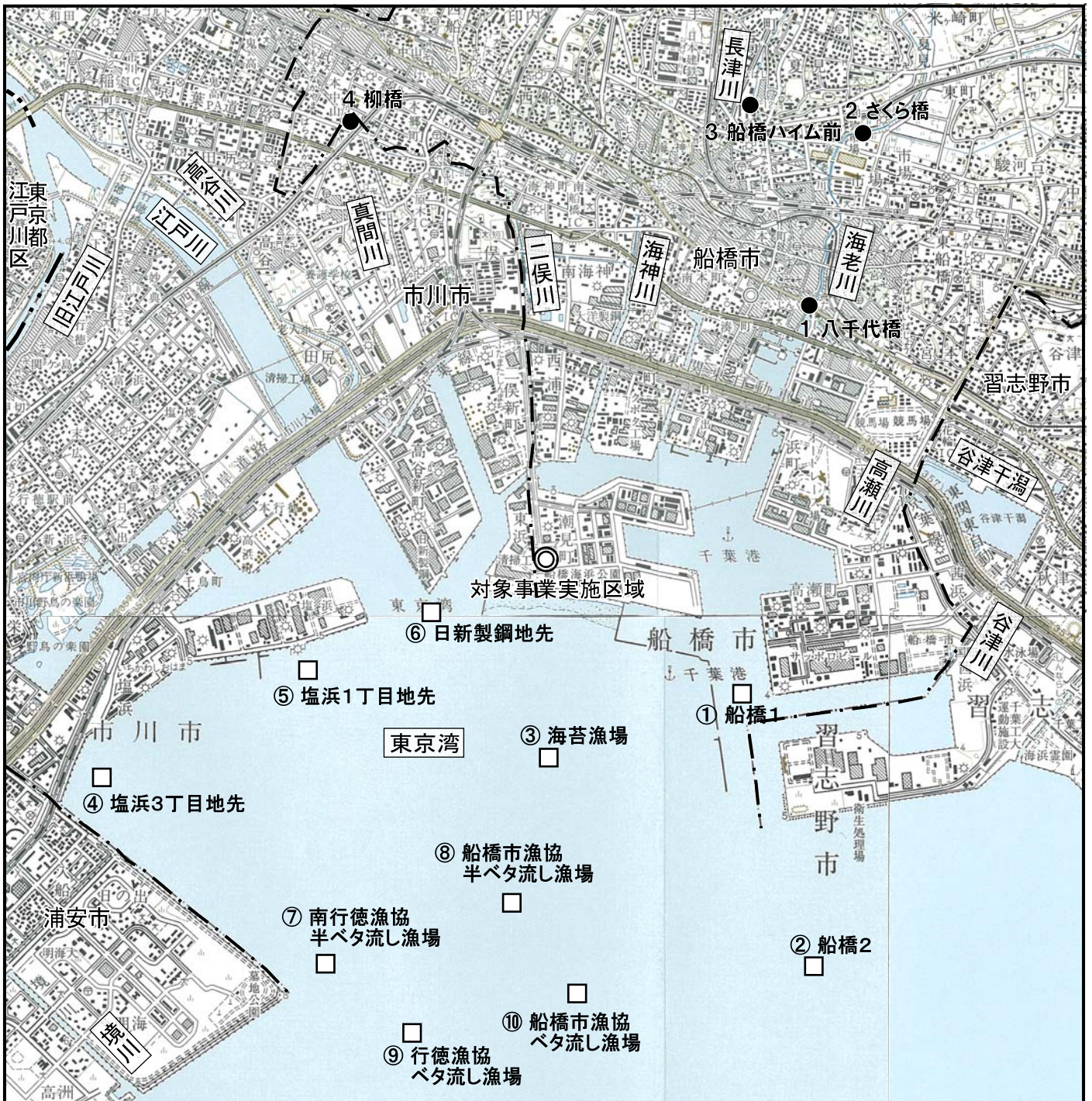
項 目	単 位	東京湾			
		① 船橋1	② 船橋2	③ 海苔漁場	
観測項目	色相	—	オリーブ黒色	オリーブ黒色	オリーブ黒色
	臭気	—	中腐敗性臭気	中腐敗性臭気	微植物性臭気
	状態	—	シルト質	シルト質+貝殻片	砂
基本項目	酸化還元電位	mV	-382	-394	-70
	乾燥減量 (含水率)	%	61.9	51.5	27.7
	強熱減量	%	10.8	7.1	2.1
	微細泥率	%	77.0	59.4	2.1
	pH	—	7.4	7.7	7.6
富栄養化項目	全窒素	mg/g	3.13	2.34	0.29
	全りん	mg/g	0.76	0.61	0.31
	全炭素	mg/g	27.3	19.7	2.6
金属等	PCB	mg/kg	0.02	<0.01	<0.01
	水銀	mg/kg	0.12	0.12	0.01
	カドミウム	mg/kg	0.4	0.3	<0.1
	鉛	mg/kg	22.2	22.1	4.8
	砒素	mg/kg	12.5	9.3	5.5
	セレン	mg/kg	0.7	0.4	<0.1
	鉄	mg/kg	21,500	26,300	22,900
	マンガン	mg/kg	336	397	314
	亜鉛	mg/kg	357	161	74
	銅	mg/kg	43.4	39.9	10.2
	クロム	mg/kg	31.1	30.9	10.5
その他	硫化物	mg/kg	1,150	1,070	28

出典：「河川や海域の水質状況（平成24年度）」（船橋市ホームページ）

表3-1.20(2) 底質調査結果（海域：市川市実施分）

項 目	単 位	④ 塩浜3丁目 地先	⑤ 塩浜1丁目 地先	⑥ 日新製鋼 地先	⑦ 南行徳漁協半 ベタ流し漁場
性状	—	—	—	—	—
臭気	—	—	—	—	—
酸化還元電位	mV	—	—	—	—
乾燥減量	wt%	26.4	27.2	45.6	23.3
強熱減量	wt%	3.0	1.7	7.7	2.2
COD <sub>Mn</sub>	mg/g	4.3	1.2	14	1.8
全硫化物	mg/g	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
全窒素	mg/g	0.49	0.16	2.3	0.17
全りん	mg/g	0.29	0.31	0.59	0.16
項 目	単 位	⑧ 船橋市漁協半 ベタ流し漁場	⑨ 行徳漁協 ベタ流し漁場	⑩ 船橋市漁協 ベタ流し漁場	
性状	—	—	—	—	
臭気	—	—	—	—	
酸化還元電位	mV	—	—	—	
乾燥減量	wt%	25.5	69.6	25.5	
強熱減量	wt%	1.8	11	1.9	
COD <sub>Mn</sub>	mg/g	1.6	33	1.5	
全硫化物	mg/g	検出せず	3	検出せず	
全窒素	mg/g	0.20	4.6	0.16	
全りん	mg/g	0.30	0.61	0.29	

出典：「平成25年版 市川市環境白書」（市川市ホームページ）



凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- 底質調査地点 (河川)
- 市境
- 底質調査地点 (海域)
- - - 都県境

出典：「公共用水域地点別水質測定結果データベース」(千葉県ホームページ)  
「河川や海域の水質状況 (平成24年度)」(船橋市ホームページ)  
「平成25年版 市川市環境白書」(市川市ホームページ)  
「平成25年版 習志野市環境白書」(習志野市ホームページ)

この地図は、国土地理院発行の1：50,000地形図「東京東北部」「東京東南部」「佐倉」「千葉」を使用したものである。

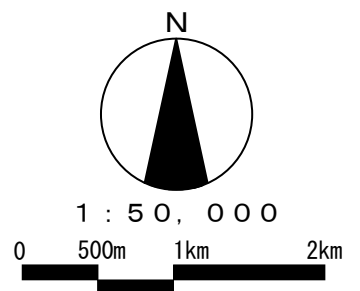


図 3-1.14 底質調査地点図

また、過去5年間における底質のダイオキシン類について調査結果は表3-1. 21に、調査地点は図3-1. 15に示すとおりである。

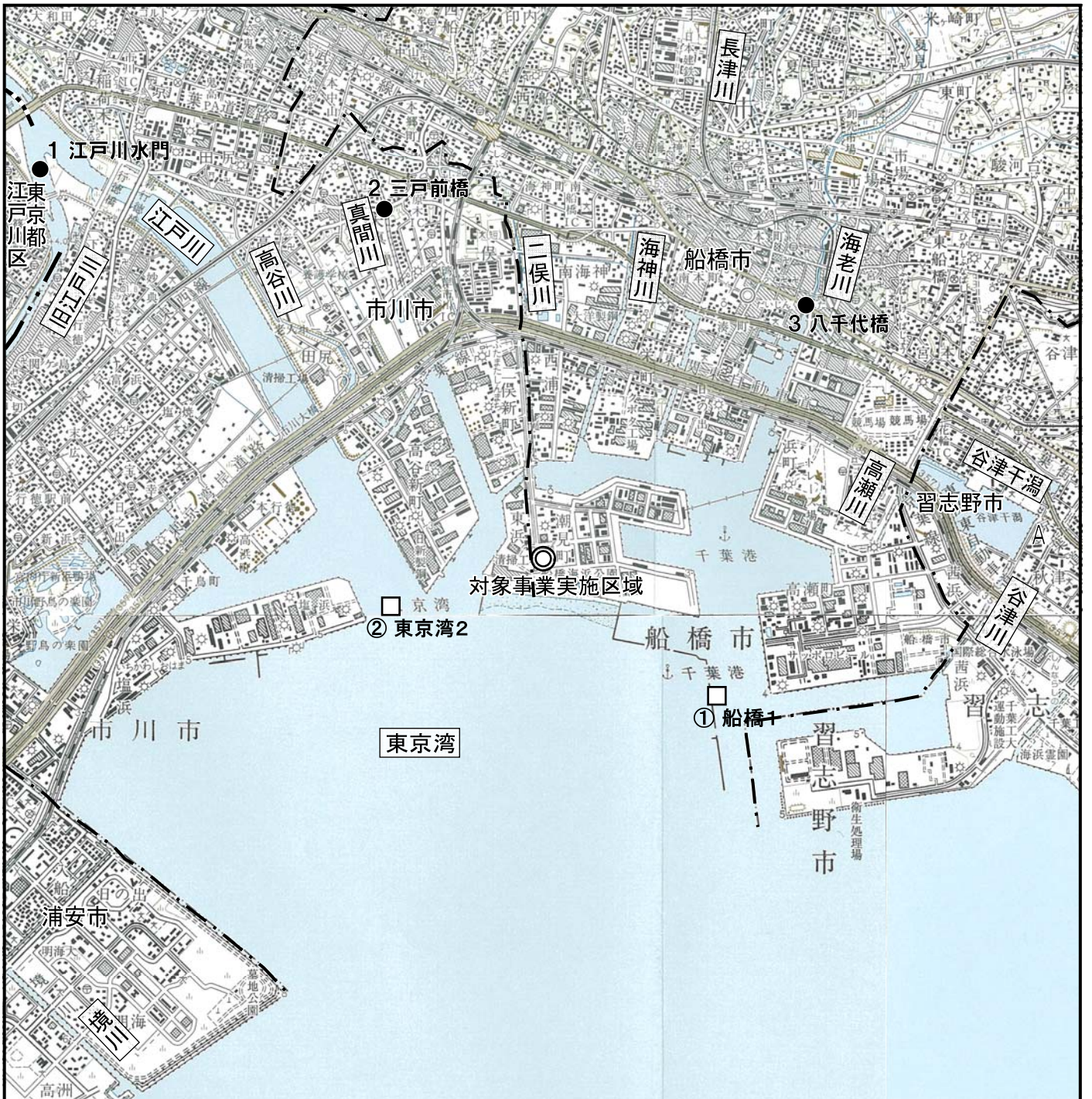
いずれの年度とも、すべての地点において環境基準を達成している。

表3-1. 21 ダイオキシン類の測定結果

単位：pg-TEQ/g

区分	水域名	地点名	地点番号	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	環境基準
河川	江戸川	江戸川水門	1	10	11	6.9	6.8	9.1	150以下
	真間川	三戸前橋	2	17	—	—	—		
	海老川	八千代橋	3	1.9	1.4	1.2	0.86	1.7	
海域	東京湾	船橋1	①	9.5	13	7.2	8.7	13	
		東京湾2	②	—	8.1	—	—	—	

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について（平成20～24年度）」（千葉県ホームページ）



凡例

- ◎ 対象事業実施区域
- ダイオキシン類調査地点 (河川)
- · - 市境
- ダイオキシン類調査地点 (海域)
- · · · 都県境

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について（平成20～24年度）」  
 （千葉県ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の1:50,000地形図「東京東北部」「東京東南部」「佐倉」「千葉」を使用したものである。

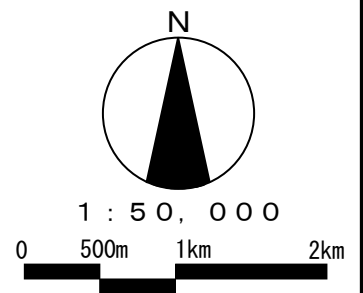


図 3-1.15 ダイオキシン類調査地点図（水底の底質）

### 3-1-6 騒音の状況

対象事業実施区域及びその周辺では、道路交通騒音について、住宅の立地状況を考慮した面的評価と、騒音規制法に基づく要請限度に係る調査が行われている。

面的評価の対象区間は図3-1. 16に、調査結果は表3-1. 22に示すとおりである。評価区間のうち、一般国道357号では、「道路に面する地域の騒音に係る環境基準」の達成率が昼間・夜間とも基準値以下の割合が80.3%となっている。

なお、対象事業実施区域周辺では、環境騒音の調査は行われていない。

表3-1.22 道路交通騒音調査結果（面的評価、平成24年度）

道路名	観測地点の住所	評価区間の住所	等価騒音レベル (デシベル)		評価区間の延長 (km)	昼間・夜間とも 基準値以下 (%)	昼間のみ 基準値以下 (%)	夜間のみ 基準値以下 (%)	昼間・夜間とも 基準値超過 (%)
			昼間	夜間					
一般国道357号	船橋市 日の出1-16	船橋市日の出1丁目 ＼ 船橋市栄町1丁目	68	67	0.4	80.3	13.1	0.0	6.6
一般国道14号	船橋市宮本 2-15-5	船橋市本町2丁目 ＼ 船橋市宮本8丁目	68	67	1.9	94.3	5.7	0.0	0.0
一般国道14号	船橋市海神町 2丁目	船橋市海神町南1丁目 ＼ 船橋市海神町3丁目	65	59	0.5	100.0	0.0	0.0	0.0
一般国道14号 (京葉道路)	市川市 鬼高3丁目22	市川市大和田 ＼ 市川市二俣2丁目13	62	59	3.6	91.3	2.5	0.0	6.3

出典：「平成25年版 千葉県環境白書」（千葉県ホームページ）

対象事業実施区域及びその周辺における要請限度に係る調査地点は図3-1. 16に、調査結果は表3-1. 23に示すとおりである。

調査結果をみると、要請限度以下の値となっている。

表3-1.23 道路交通騒音調査結果（要請限度調査関係、平成24年度）

道路名	測定場所	区域の区分 <sup>注2)</sup>	近接空間 <sup>注1)</sup>	等価騒音レベル (デシベル)		要請限度判定 <sup>注3)</sup>
				昼間	夜間	
東関東自動車道 国道357号	船橋市日の出1-16	c	1	68	67	○

注1) 近接空間コード 1：測定地点が道路の近接空間に位置する 0：測定地点が道路の近接空間に位置しない

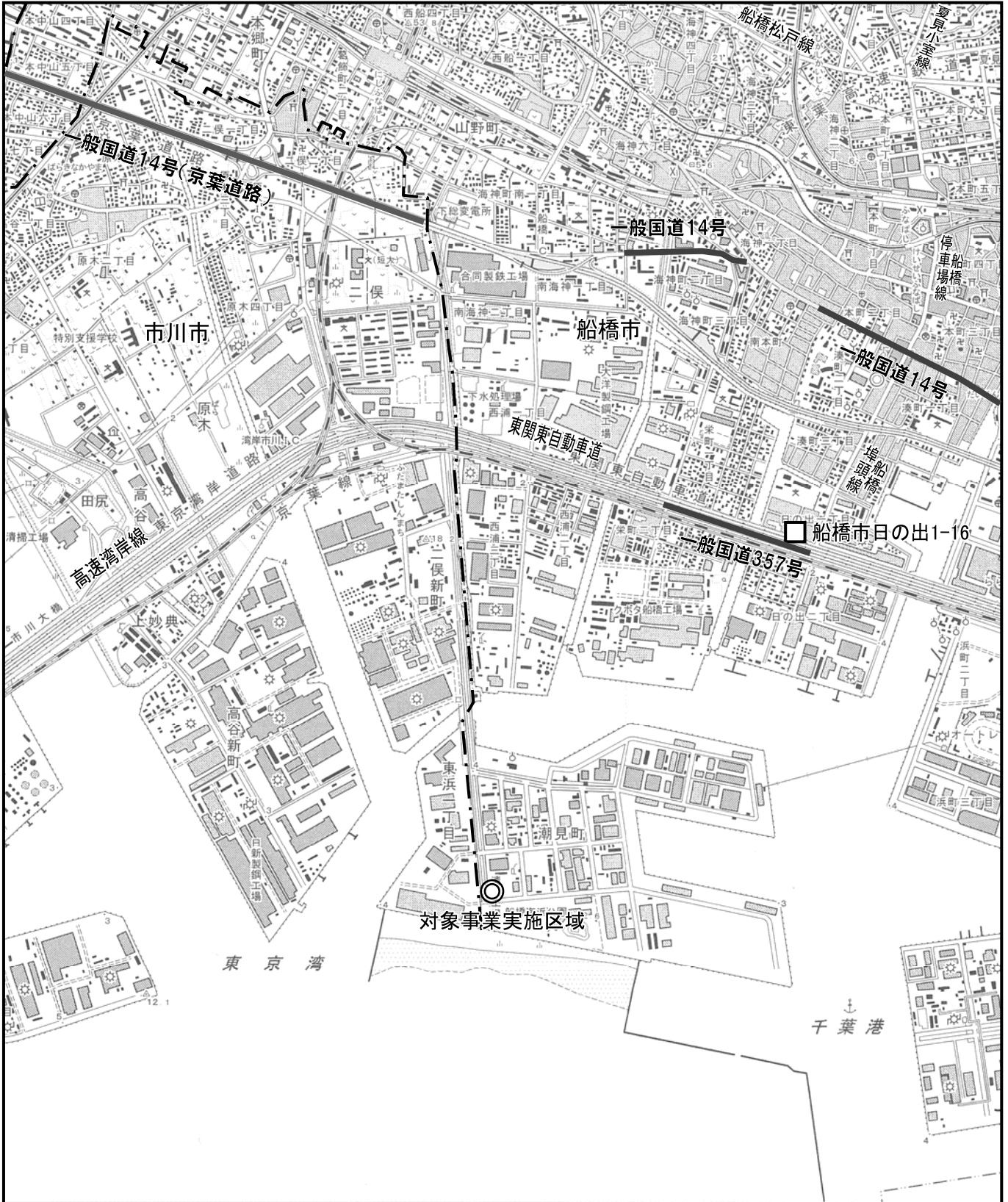
注2) 区域の区分 a：第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域及び第二種中高層住居専用地域

b：第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域及び市街化調整区域の一部

c：近隣商業地域、商業地域、準工業地域及び工業地域

注3) 要請限度以下の場合は○、超過している場合は×を表示している。

出典：「平成25年版 千葉県環境白書」（千葉県ホームページ）



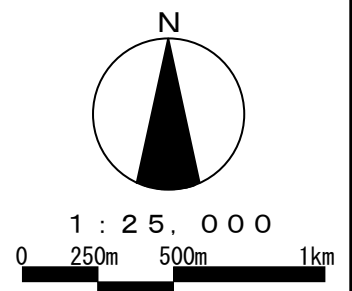
凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- 面的評価対象区間
- - - 市境
- 要請限度調査地点

出典：「平成25年版 千葉県環境白書」（千葉県ホームページ）  
船橋市資料

この地図は、国土地理院発行の1：25,000地形図「船橋」を使用したものである。

図 3-1.16 道路交通騒音調査地点



### 3-1-7 振動の状況

対象事業実施区域及びその周辺における道路交通振動の調査地点は図3-1. 17に、調査結果は表3-1. 24に示すとおりである。

調査結果をみると、要請限度以下の値となっている。

なお、対象事業実施区域周辺では、環境振動の調査は実施されていない。

表3-1. 24 道路交通振動測定結果（80%レンジ上端値、平成24年度）

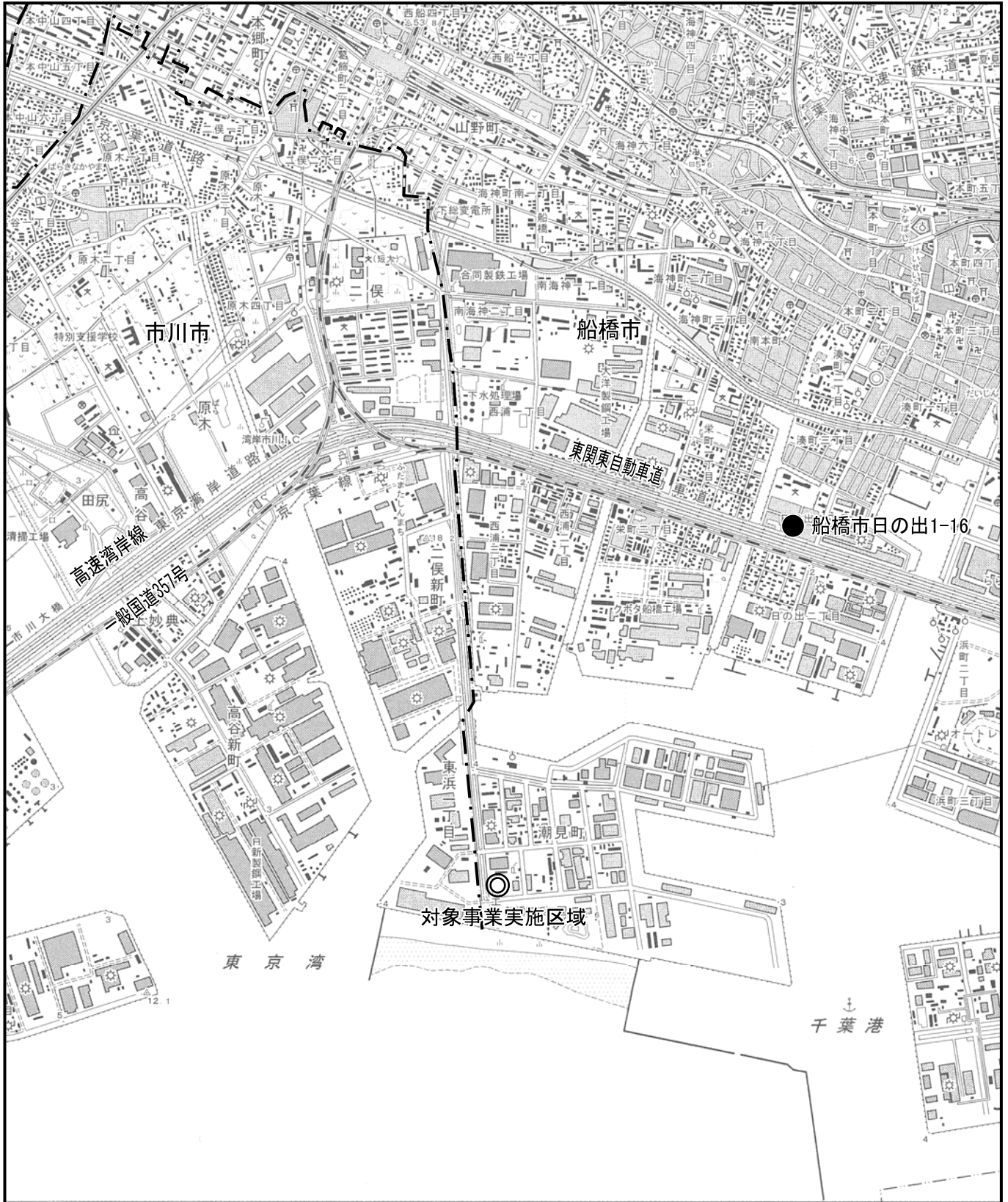
道路名	測定場所	区域の 区分 <sup>注1)</sup>	振動レベル (デシベル)		要請限度判定 <sup>注2)</sup>
			昼間	夜間	
東関東自動車道 国道357号	船橋市日の出1-16	2	49	47	○

注1) 区域の区分 1：第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域

2：近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

注2) 要請限度以下の場合は○、超過している場合は×を表示している。

出典：「平成25年版 千葉県環境白書」（千葉県ホームページ）



凡 例

- ◎ 対象事業実施区域      ● 振動調査地点
- 市境

出典：「平成25年版 千葉県環境白書」（千葉県ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の1：25,000地形図「船橋」を使用したものである。

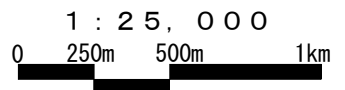
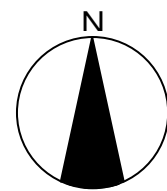


図 3-1.17 道路交通振動調査地点



### 3-1-8 悪臭の状況

対象事業実施区域周辺では、悪臭の調査は実施されていない。市内における用途地域別の悪臭に対する苦情発生件数は、表3-1.25に示すとおりである。

平成24年度においては、悪臭に関する苦情は準工業地域において2件、工業地域において1件発生している。

表3-1.25 用途地域別の悪臭に対する苦情発生件数（平成24年度）

用途地域	件数（件）
住居	0
近隣商業	0
商業	0
準工業	2
工業	1
工業専用	0
市街化調整	0
合計	3

出典：「平成25年版 船橋市の環境」（船橋市ホームページ）